



世界最大級 旅の祭典

ツーリズムEXPOジャパン 2017

2017年9月21日(木)～24日(日) 東京ビッグサイト

開催レポート

創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。

ツーリズムEXPOジャパン 2017 第2ステージ初年度は過去最高の191,577人を記録!!

[出展者数] 世界**130**力国・地域
国内**47**都道府県
1,310企業・団体

[来場者数] **合計 191,577人**

9月21日(木)／業界・プレス日 8,671人
9月22日(金)／業界・プレス日 42,057人

9月23日(土)／一般日 74,040人
9月24日(日)／一般日 66,809人

【主催】公益社団法人 日本観光振興協会／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)／日本政府観光局 (JNTO)



「ツーリズムEXPOジャパン 2017」 過去最高の191,577人が来場！

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は、今年で4回目となる世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2017」を、9月21日（木）から9月24日（日）の期間、東京ビッグサイトにて開催。世界130の国・地域と国内47都道府県から過去最高の1,310の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は過去最高の191,577人を記録しました。

2014年（ホップ）・2015年（ステップ）・2016年（ジャンプ）の3年間を経て、今年は「三位一体をベースとしたBtoBプロモーション機会を提供」すべく、業界向けには“創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。”をテーマに、「持続可能な観光国際年」にちなんで観光大臣会合やシンポジウム、ジャパン・ツーリズム・アワード表彰式、WELCOME RECEPTION（JAPAN／WORLD）、商談会を開催。商談会はアウトバウンド・国内旅行商談会に加え、訪日ランドオペレーター商談会を新設し、会期中の商談件数は6,886件（前年の2.5倍）となりました。そのほか、JNTO主催のVISIT JAPANトラベル&MICEマート2017との連携強化、日本経済新聞社との共催によるインバウンド・観光ビジネス総合展を開催しました。

また、一般向けには、“見つけよう。旅の「新しいカタチ」。”をテーマに掲げ、産業観光や国立公園、日本遺産等のテーマのある旅が体験、イベント、VR（バーチャルリアリティ）などを通じて展示され、好評を博しました。

なお、「ツーリズムEXPOジャパン2018」は、2018年9月20日（木）から23日（日）の4日間、東京ビッグサイトにて開催いたします。来る2019年（大阪）・2020年（沖縄）開催に向け、観光産業の活性化を図るべく、引き続き取り組んでまいります。



左から：広報アンバサダーに任命されたミス日本／ミス着物の高田紫帆さん、公益社団法人日本観光振興協会 会長 山口範雄、一般社団法人日本旅行業協会 会長 田川博己、日本政府観光局 理事長 松山良一

■ツーリズムEXPOジャパン 実績

年	2014	2015	2016
出展者数	世界151カ国・地域 国内47都道府県 1,129企業・団体	世界141カ国・地域 国内47都道府県 1,161企業・団体	世界140カ国・地域 国内47都道府県 1,181企業・団体
来場者数	9月26日（金）／業界・プレス日 41,063人 9月27日（土）／一般日 61,649人 9月28日（日）／一般日 54,877人 合計 157,589人	9月24日（木）／業界・プレス日 5,860人 9月25日（金）／業界・プレス日 40,622人 9月26日（土）／一般日 64,959人 9月27日（日）／一般日 62,161人 合計 173,602人	9月22日（木）／業界・プレス日 7,011人 9月23日（金）／業界・プレス日 42,023人 9月24日（土）／一般日 70,012人 9月25日（日）／一般日 66,798人 合計 185,844人
※広報イベントJAPAN NIGHT（日本橋エリア） 一般来場者は別途15,200人			



ツーリズムEXPOジャパン 2017 **5つの事業**

UNWTO（国連世界観光機関）、WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）と連動したグローバル視点の国際会議

① ツーリズムEXPOジャパンフォーラム

出展サプライヤー（セラー）と旅行会社（バイヤー）、メディアが効果を実感できる

② アウトバウンド・国内旅行商談会、訪日ランドオペレーター商談会、メディアミーティング

世界130カ国・地域、国内47都道府県。1,310の企業・団体の観光情報が集結！

③ 展示会…出展小間数2,130小間

応募総数も年々増加！ 広く内外に「観光の力」を啓発、「観光大国」の実現を目指す

④ ジャパン・ツーリズム・アワード

海外と国内・訪日の2会場で、業界関係者のBtoBネットワーキングを強化！

⑤ WELCOME RECEPTION JAPAN / WELCOME RECEPTION WORLD

異業種商談の場も新設！

New 「インバウンド・観光ビジネス総合展」（日本経済新聞社共催）

PICK UP!

ジャパン・トラベル・マンズ 2017

スポーツ庁、文化庁、観光庁、環境省との官民連携で実施する
秋口の旅行機運醸成を図る月間プロジェクト

スポーツ、文化
そして、自然を感じて旅する秋



JAPAN
TRAVEL
MONTH



スポーツ庁、文化庁、観光庁とツーリズムEXPOジャパン主催3団体が協力し、官民連携で実施する秋口の観光機運醸成を図る月間プロジェクトとして2016年に始動したジャパン・トラベル・マンズ。2017年は環境省も加わり、さらなる一般消費者への認知拡大を目指し、協力官庁から提供される素材をもとに旅行商品の造成を行い、秋口の旅行機運を醸成し、ツーリズムEXPOジャパンとの相乗露出効果を図りました。

●期間：2017年9月21日（木）～11月3日（金）

●対象（ツアーで訪れて体験する）

①環境省選定の国立公園8カ所

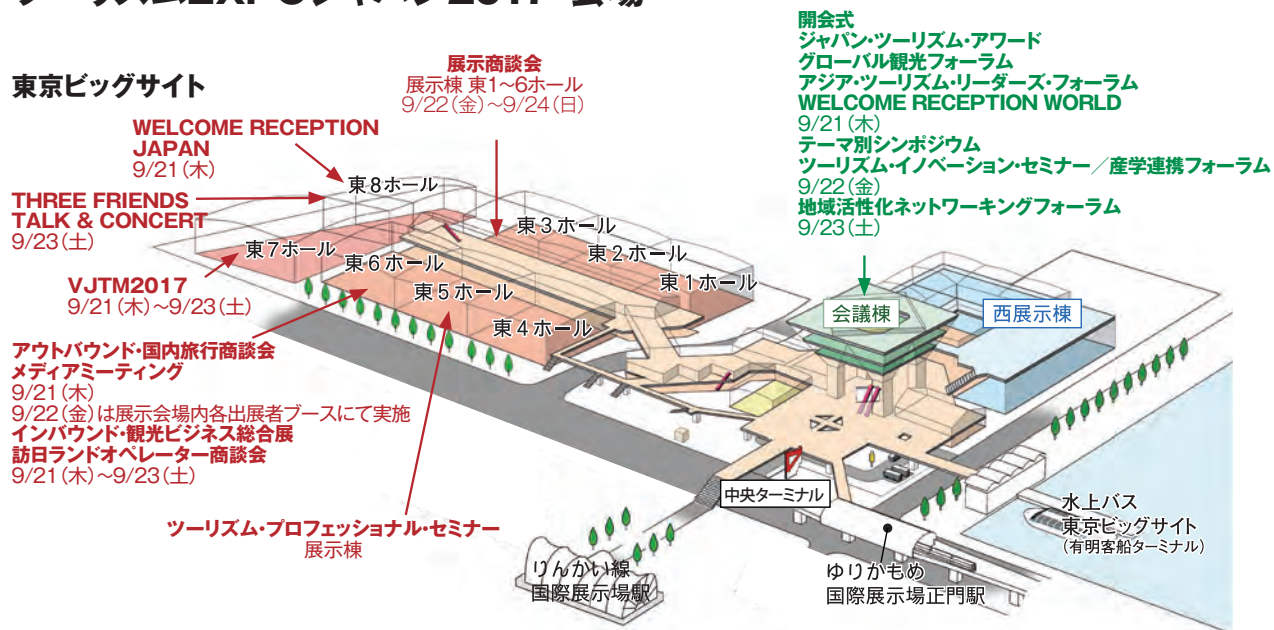
②文化庁認定の日本遺産

③観光に親和性のあるスポーツイベントなど

ツーリズムEXPOジャパン2017

日	会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00			
9月21日 (木)	会議棟 国際会議場	開会式 9:30~9:45		グローバル観光フォーラム 10:30~12:30 ・基調講演・TEJ観光大臣会合															
	会議棟 605~608	ジャパン・ツーリズム・アワード 表彰式9:45~10:30						アジア・ツーリズム・リーダーズ・ フォーラム 13:30~17:15				WTTCネットワーキング・レセプション 17:00~18:15							
	会議棟 1階レセプションホール												WELCOME RECEPTION WORLD 18:30~21:00						
	展示棟 東6ホール	アウトバウンド・国内旅行・訪日ランドオペレーター商談会・メディアミーティング 9:30~18:00 インバウンド・観光ビジネス総合展 10:00~18:00																	
	展示棟 東8ホール												WELCOME RECEPTION JAPAN 18:30~21:00						
9月22日 (金)	会議棟 605・606	テーマ別 シンポジウム	国内観光シンポジウム 10:00~12:00			訪日旅行シンポジウム 13:00~14:30			海外旅行シンポジウム 15:30~17:00										
	会議棟 607・608	産学連携 フォーラム	旅行業界研究講座 10:00~13:00			産学連携ツーリズムセミナー 14:00~17:00													
	会議棟 703	ツーリズム・ イノベーション・ セミナー	持続可能な地域観光開発セミナー 9:30~12:30			ユニバーサルツーリズム・ シンポジウム 13:30~15:00			ラグジュアリー・トラベル・セミナー 16:00~17:30										
	会議棟 1階レセプションホール												VJTM2017交流会 19:00~20:30						
	展示棟 東1~6ホール	ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:00~18:00											小間内レセプション 18:30~20:00						
		アウトバウンド・国内旅行商談会(展示ブース内) 10:00~18:00																	
		展示商談会(業界・プレス日) 10:00~18:00 スポーツツーリズム															EXPO交流会 18:00~20:00		
インバウンド・観光ビジネス総合展／訪日ランドオペレーター商談会 10:00~18:00																			
9月23日 (土)	展示棟 東1~6・8ホール	展示商談会(一般、業界、学生日) 10:00~18:00 スポーツツーリズム																	
		インバウンド・観光ビジネス総合展／訪日ランドオペレーター商談会 10:00~18:00																	
		THREE FRIENDS TALK & CONCERT in Tokyo 17:00~20:00(東8ホール) 主催:ソウル特別市、京畿道、江原道																	
	会議棟 605・606	ツーリズム・イノベーション・セミナー					地域活性化ネットワーキングフォーラム 13:00~15:00												
9月24日 (日)	展示棟 東1~6ホール	展示商談会(一般、業界、学生日) 10:00~17:00 スポーツツーリズム											閉会式・グランドフィナーレ16:30~17:00						
9月21日(木) 9月23日(土)	展示棟 東7ホール	VISIT JAPAN トラベル & MICEマート2017 (VJTM2017) 主催:日本政府観光局 (JNTO)																	

ツーリズムEXPOジャパン2017 会場



VISIT JAPAN トラベル & MICE マート2017 合同開催
9/21(木)~23(土) 東7ホール
日本政府観光局 (JNTO) 主催のVJTMが合同開催。
展示会場視察、WELCOME RECEPTION JAPANでの連携を図った。

開会式

9月21日(木) 9:30～9:45
東京ビッグサイト 会議棟7階
国際会議場
来場者：1,000名



日本観光振興協会 会長 山口範雄



国土交通大臣 石井啓一氏



ツーリズムEXPOジャパン2017開幕 「新しい旅のカタチ」をテーマに三位一体イベントを実現

初日の開会式では、山口範雄会長が「世界ではテロや難民問題に端を発し、人々の交流を妨げる問題が発生しているが、ツーリズムに携わる者として、皆様と声をそろえて、交流の力を訴えていきたい」と挨拶した。

続いて来賓を代表して挨拶に立った石井啓一国土交通大臣は「観光は、経済だけでなく、社会の共生、環境の保護、文化、平和、安全に大きく貢献するものであり、今後も成長を継続させることが

重要」との認識を示した。さらに「我が国において、観光は地方創生の切り札、成長戦略の大きな柱であり、観光先進国の実現に向けて、政府一丸、官民一体となって取り組んでいく」と力強く述べた。

[登壇者]

ご来賓：国土交通大臣 石井啓一氏／国土交通大臣政務官 築和生氏／国土交通省観光庁 長官 田村明比古氏

主催者：公益社団法人 日本観光振興協会 会長 山口範雄／一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 松山良一

グローバル観光フォーラム 持続可能な観光

9月21日(木) 東京ビッグサイト 会議棟7階 国際会議場

[主催] 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、
日本政府観光局 (JNTO)

[フォーラムストラップ協賛] タイ国政府観光庁

[フォーラムカフェブレイク協賛] 株式会社クラブメッド

[後援] 国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、農林水産省、経済産業省、環境省、東京都、公益財団法人 東京観光財団、独立行政法人 日本貿易振興機構 (ジェトロ)、一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所

第1部 基調講演

東京ビッグサイト 会議棟7階 国際会議場
9月21日(木) 10:30～11:00

テーマ 持続可能な観光

共催：



基調講演ではメキシコ、マレーシアの取り組みを紹介

基調講演では、観光産業の成長が目覚ましいメキシコとマレーシアの取り組みが紹介された。

メキシコのコルデーロ観光大臣は、震災対応のため帰国したが、会場では同大臣のメッセージをギジェルモ氏が代読。石油に依存していた経済が、観光など多彩な産業が支えるオープンな市場へと変貌した歴史に触れ、これに逆行する風潮に懸念を示した。地域間の経済格差、貧困撲滅、環境保護、伝統文化の継承、人口の大都市偏重への対策でも観光が鍵であり、政府は中小企業や過疎地域への観光開発支援に取り組んでいくという。

続いて登壇したマレーシアのアジズ観光文化大臣は、より「インクルーシブかつサステイナブル」な観光開発の重要性を力説。2020年までに外客数を1.5倍、観光消費額を3倍に拡大する目標を掲げ、世界最大のエコツーリズム・デスティネーションの確立を目指している。トレンガヌ州ペルヘンティアン島でのエコリゾート開発計画などを披露し、目標の達成に不可欠な要素として、すべての関係者の参画、強力なリーダーシップ、継続とモニタリング、問題を修正する対応力などを挙げた。



ハビエル・ギジェルモ氏 ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ氏

基調講演者

エンリケ・デラマドリー・コルデーロ氏
(メキシコ合衆国観光大臣)

代読：ハビエル・ギジェルモ氏
(メキシコ政府観光省国際局長)

ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ氏
(マレーシア観光文化大臣)



第2部 ツーリズムEXPOジャパン 観光大臣会合

9月21日(木) 11:00～12:30

初の「観光大臣ラウンドテーブル」を東京で開催 ——世界各国の「持続可能な観光」への取り組み事例を紹介

共催:



世界13か国の観光大臣および観光行政トップ、国連世界観光機関（UNWTO）、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）、太平洋アジア観光協会（PATA）の代表者が一堂に会し、持続可能な観光について話し合う「観光大臣会合」が、グローバル観光フォーラム第2部として開催された。

アジア、アフリカ、欧州、オセアニア、南米と世界各地の観光政策を網羅したラウンドテーブルは今回が初の試み。2017年は国連が「持続可能な観光国際年」に制定するなか、各国の具体的な取り組み事例や、今後に向けた課題や目標の共有が行われた。

ホストとなる日本側からは、国土交通省観光庁の田村長官と、経団連で観光委員長を務める富田氏が登壇。UNWTOのリファイ氏は祝福のビデオメッセージを寄せ「2030年までの世界的な目標として設定された“持続可能な発展”の実現は、我々観光業界がどれだけ貢献できるかにかかっている」と会場に呼びかけた。

モデレーターは同じくUNWTOのメンディラッタ氏が務めた。

ビデオメッセージ:

タレブ・リファイ氏（国連世界観光機関 UNWTO 事務局長）



タレブ・リファイ氏

会議棟でClub Med Caféを展開

9月21日(木)と22日(金)の業界・プレス日には、会議棟6階に株式会社クラブメッドがカフェを設置。グローバル観光フォーラムやシンポジウム参加者にコーヒブレイクの場を提供した。



モデレーター:

アニータ・メンディラッタ氏

(国連世界観光機関 UNWTO 事務局長スペシャルアドバイザー)

パネリスト:

※国名別・団体名別アルファベット順

ジョン・オサリバン氏

(オーストラリア政府観光局 本局局長)

チャンター・ティ氏

(カンボジア観光副大臣)

アドラ・ラガブ氏

(エジプト観光副大臣)

クリスチャン・マンティ氏

(フランス観光開発機構 ジェネラル・マネージャー)

田村明比古氏

(国土交通省 観光庁長官)

セルゲユス・ティホミロヴァス氏

(リトアニア共和国 経済大臣顧問)

ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ氏

(マレーシア観光文化大臣)

オウン・マウン氏

(ミャンマー ホテル・観光省大臣)

マルセラ・バシガルポ氏

(パラグアイ共和国観光庁長)

ワンダ・コラゾン・T・テオ氏

(フィリピン観光大臣)

トコジレ・カーサ氏

(南アフリカ観光大臣)

コープカーン・ワッタナワラーンクーン氏

(タイ観光・スポーツ大臣)

アジズ・アブドゥハキモフ氏

(ウズベキスタン共和国観光開発国家委員会 総裁)

富田哲郎氏

(一般社団法人日本経済団体連合会観光委員会委員長／

東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長)

サラ・マシュー氏

(太平洋アジア観光協会 PATA 会長)

スー・ジン氏

(UNWTO総会・執行理事会担当部長 兼 アジア太平洋地域部部長)

ジェラルド・ローレス氏

(世界旅行ツーリズム協議会 WTTC 会長)



アニータ・メンディラッタ氏



ジョン・オサリバン氏



チャンター・ティ氏



アドラ・ラガブ氏



クリスチャン・マンティ氏



田村明比古氏



セルゲユス・ティホミロヴァス氏



ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・
ビン・アブドゥル・アジズ氏



オウン・マウン氏



マルセラ・バシガルポ氏



ワンダ・コラゾン・T・テオ氏



トコジレ・カーサ氏



コープカーン・ワッタナワラーンクーン氏



アジズ・アブドゥハキモフ氏



富田哲郎氏



サラ・マシュー氏



スー・ジン氏



ジェラルド・ローレス氏

アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム

日時:9月21日(木) 13:30~17:15
東京ビッグサイト 会議棟6階
会議室605・606

3ヶ年
テーマ

持続可能な観光
～アジアが世界をリードする～

2017年
テーマ

持続可能なビジネス

開会挨拶

13:30~13:40



[開会挨拶]

本保芳明氏

(国連世界観光機関 駐日事務所 代表)

**革新的変化を遂げる
アジアの先進事例を共有**

世界の中でもアジア地域は大きく激動し、日々新たな革新が生まれている。その中で選ばれたアジアのリーダーが今日ここに集まった。彼らの経験や先進事例を共有することは、我々が共有する国際的課題に取り組み、新たな政策やビジネスモデルを生み出し、持続可能な観光を推進していくことにつながる。本日のフォーラムから新たな観光の知恵が生まれ、参加者の間で絆が生まれることを期待する。



[来賓挨拶]

ワンダ・コラゾン・T・テオ
フィリピン観光大臣

**持続可能な観光開発には
国を超えた協力が必要**

2016年のアジアの国際観光客到着数は前年比約9%増と、世界平均の倍にあたる伸び率を示した。UNWTOによれば、2030年までに国際観光客到着数の57%がアジアをはじめとする新興国・地域で占められると予測されている。こうした状況の中で持続可能性のある開発を維持するには先進事例をシェアし、国を超えた協力が必要であり、今日がそのための有意義な場になると期待する。

基調講演 ◎サステイナブル・ツーリズムの世界的な動向

13:40~13:55



[登壇者]

グレアム・ミラー教授

(和歌山大学 特別主幹教授、国際観光学研究センター
副センター長、英国サリー大学 文学部・人文学部 学部長)

**持続可能な観光には
客観的データの裏付けが不可欠**

ミラー氏は、持続可能な観光には客観的なデータの収集と共有が必要だとし、以下のような提言を行った。

ネスレやユニリーバなどの大企業が集まる国際的業界団体、コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF) では、気候変動や食物廃棄など持続可能性に関する4つのトピックについて知識を共有している。観光業界にとっても参考になる事例だ。英国のサリー大学とオーストラリアのグリフィス大学は、観光業界の各方面の協力を得て観光と持続可能



性に関するデータ提供サイトを立ち上げた。例えばホテルや航空機のCO₂排出量など、基礎となる計測方法が確立されれば適正な入込数などを予測し、対応が行える。持続可能な観光に取り組むにはまず、こうした客観的なデータの計測と幅広い共有が必要だと考える。

WTTCネットワーキング・レセプション

共催：世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC)、公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)

世界の観光産業界・政府機関幹部が意見を交換

世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) との共催によるレセプションは、昨年に続き2回目の開催となった。冒頭でジェラルド・ローレスWTTC会長は「今後も力強い成長が予想される日本の観光業界を、WTTCは全面的にサポートしていきたい」と挨拶。続いて、毎年4月に開催されている「WTTCグローバルサミット」が、来年はアルゼンチンの首都ブエノスアイレスで行われることが明らかにされた。



[モデレーター]

サラ・マシュー氏 (PATA 会長) (セッション1 & 2)

グレアム・ミラー教授 (セッション3 & 4)

高松正人氏 (株式会社JTB総合研究所 常務取締役)



サラ・マシュー氏



グレアム・ミラー教授



高松正人氏

セッション ① 14:00~14:30 テーマ：持続可能な地域／コミュニティへの貢献

パネリスト：國定勇人氏 (新潟県三条市長)／タシ・テンジン氏 (ブータン政府観光局 サービス部門長)

新潟の「燕三条 工場の祭典」とブータンの観光政策

金属加工業で知られる新潟県の燕三条地域では、工場を見学者に開放するイベント「燕三条 工場の祭典」が今年で5回目を迎えた。参加者の約4割が県外から訪れ、「後継者不足に悩んでいたが、この取り組みによって地域外から若い後継者が生まれた」と國定氏はその成果について説明。

1974年から観光業が始まったブータンでは高価値、低環境負荷を目指し、レスポンシブル・ツーリズム、本物志向、高品質、ユニークという4原則を掲げている。外国人旅行者は全員ビザが必要で、1人あたりの滞在費は1日200米ドル以上、資格ガイド同行は必須。「これらの制約により、環境負荷の低減を維持している」とテンジン氏は語った。



國定勇人氏



タシ・テンジン氏

セッション ② 14:30~15:00 テーマ：持続可能な地球環境への貢献

パネリスト：ヒラン・クーレー氏 (ジェットウィング・ホテル 会長／スリランカ)
ブノア・リュロ氏 (関西エアポート株式会社 専務執行役員、最高技術責任者)

スリランカのエコリゾートと関西2空港の環境対策

ラグジュアリーなヴィラで知られるスリランカのリゾート、ジェットウィング・ヴィル・ウヤナは、元々は何もない場所に人工池など自然環境を一から作り上げ、豊かで多様な生態系を生み出した。「通常は3~4年で利益が得られるが、6年かかった。チャレンジングなプロジェクトだった」とクーレー氏。

関西、伊丹の2空港を運営する関西エアポートは、積極的な環境対策に取り組んでいる。「関西では廃棄物や廃水の処理工場を設置し、すべて空港のある島内で処理している」とリュロ氏は述べ、2空港ともに節水や省エネルギーの具体的な数値目標を掲げ、達成に向けて努力していることが語られた。



ヒラン・クーレー氏



ブノア・リュロ氏

セッション ③ 15:15~15:45 テーマ：持続可能なビジネス

パネリスト：リンジー・レディング氏 (アンダマン・ディスカバリーズ クライアント・リレーションズ・マネージャー／タイ)
富田直美氏 (株式会社hapi-robo st 代表取締役社長／ハウステンボス株式会社 取締役CTO[最高技術責任者]
／株式会社エイチ・アイ・エス 取締役CIO[最高情報責任者])

コミュニティ主導の観光と持続可能なビジネスモデル

2005年に設立された非営利団体、アンダマン・ディスカバリーズは、2004年のスマトラ沖津波で被災したタイのバンガー県でホームステイなどの地域に根ざした観光を推進している。「地域の文化や自然を守る手段として、住民自身から観光というアイデアが出てきた」とレディング氏。

HISグループの最高情報責任者である富田氏は、持続可能なビジネスモデルとして「個人の幸せと、利益を生む経済、環境保全を三位一体で同時に実現することが重要」と語り、企業にとっては「社会貢献の責任」を意味するCSRではなく「価値を共有」するCSVという考え方が好ましいと述べた。



リンジー・レディング氏



富田直美氏

セッション ④ 15:45~16:15 テーマ：持続可能な雇用創出への貢献

パネリスト：インティ・デュアンサワン氏 (グリーンディスカバリー & インティラホテルズ CEO／ラオス)
東良和氏 (沖縄ツーリスト株式会社 代表取締役会長)

ラオスと沖縄、2地域における雇用の現状

ラオスにエコツーリズムの概念が導入されたのは2001年で、ニュージーランド政府がラオス政府と共同プロジェクトを実施した。「ラオスの観光業はまだ歴史が浅いが、このことがきっかけで都会以外の地域に雇用が生まれるようになった」と、ラオスで観光ビジネスに約20年携わるインティ氏は語った。

沖縄ツーリストの社員数は約700名で、男女比は女性がやや多く、管理職の半数は女性で占められる。「雇用の安定には、子育てや介護などの支援体制が重要。産休や育休を経て職場に復帰した女性社員は、重要な戦力になる」と東氏は語り、社内保育所を地域の他の企業にも開放していることを明らかにした。



インティ・デュアンサワン氏



東良和氏

総括ディスカッション 16:15~16:45 テーマ：サステナブルなツーリズム・ビジネス

パネリスト：サラ・マシュー氏／グレアム・ミラー教授／高松正人氏

ビジネスと持続可能性の両立、成長率の数字はすべてではない

司会を務める高松氏がモデレーターのミラー氏、マシュー氏を壇上に招き、4つのセッションを通じて得た見解について意見を交換した。マシュー氏は「ビジネスに持続可能性があれば、長期的な収益性が担保され、仕事に対する従業員の誇りなども醸成されることがわかった」と語り、ミラー氏は「成長は常に大きな課題だが、成長率の数字だけに注目するのではなく、成長によって何を達成するのかを考えることも大事」とコメント。会場からは「オーバーツーリズム(観光客過剰)を測る基準とは?」の質問が寄せられるなど、パネリストやモデレーターとの間で質疑応答も行われた。

ネットワーキング

16:45~17:15

今年も登壇者およびフォーラム聴講者との情報交換の場を設定。名刺交換などが行われ、有益なネットワーキング構築の場となった。



テーマ別シンポジウム

9月22日(金) 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室605・606

国内観光シンポジウム

10:00~12:00

テーマ DMOは地域の観光を変えるか？ ～世界から人が集まるための地域マネジメントと マーケティングを考える～

地域と人をつなぐテーマやメッセージの重要性を討論

世界から日本に人を集めるために地域の力が重要視されるなか、基調講演で越後妻有の「大地の芸術祭」「瀬戸内国際芸術祭」のディレクターを務めた北川氏が「地域と人間の関係をアートでギャラリーに変えることで、地域に人が集まり、観光が生まれた」など、地域の魅力創造におけるテーマの重要性を証言した。

続くパネルディスカッションは、日本版DMOの在り方について討論。多田氏が「ブームよりルーツを大事にする」ことや外国人視点による受け地づくりが成功につながったと述べ、大西氏は「人口減少に対する危機感が町全体で強く、観光を通じた交流人口増加を目指している。入湯税の引き上げを断行し、町づくりの財源に充てている」などと話した。一方、浅井氏は「DMOの確立には、財源確保の観点からも行政や地元金融機関と有益な連携が不可欠」と指摘。マシュー氏は「単純に人を呼ぶのではなく、お客様と地域を明確なメッセージでつなぐことが重要だ」と提言した。

基調講演 美術による地域づくり (30分)

北川フラム氏 (株式会社アートフロントギャラリー 代表取締役会長 瀬戸内国際芸術祭等 総合ディレクター)

パネルディスカッション (90分)

モデレーター: 山田雄一氏 (公益財団法人 日本交通公社 観光政策研究部 次長)

パネリスト: 大西雅之氏 (NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構 理事長)

多田稔子氏 (一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長)

浅井忠美氏 (株式会社日本政策投資銀行 地域企画部長)

サラ・マシュー氏 (トリップアドバイザー株式会社 アジア太平洋地域 デスティネーション・マーケティング・セールスチーム統括部長)



北川フラム氏



山田雄一氏



大西雅之氏



多田稔子氏



浅井忠美氏



サラ・マシュー氏

訪日旅行シンポジウム

13:00~14:30

テーマ 欧米豪市場からの誘客強化に向けて

インバウンドの成否握る欧米豪の誘客強化とは

2020年に4000万人、30年には6000万人の訪日客誘致を目指す日本。日本社会が抱える人口減少問題を補う経済効果として期待されているのが、長期滞在が見込め、伸びしろが大きい欧米豪市場の消費力だ。すでに誘致に成功している高山市の丸山氏は10言語に上る多言語マップ、飛騨地域限定の特例通訳案内士の活躍などの施策を紹介したうえで、「高山だけでなく、何気ない里山の風景、古い町並みなど、日本の田舎には欧米豪の旅行者に好まれる魅力が詰まっている」と言及。

小規模旅館ながらスキーズシーズンはオーストラリアを中心に訪日客で満室が続くしろま荘の丸山氏は「アジアに比べ欧米豪のお客様は観光名所だけでなく、日本での滞在そのものを楽しむ方が多い。キラーコンテンツに加え、読書しながらゆっくり過ごせるカフェ、質の高い体験プランなど地域ぐるみの連携が不可欠だ」と訴えた。

また、世界の観光大国であるフランスのマンティ氏は「私たち外国人はどこでもいいのではなく、日本だからこそ訪れている。日本の文化、日本人のアイデンティティを大事にし、地方それぞれの独創性を活かして誘致に取り組むべき」と提言した。

モデレーター: 蛭川彰 (日本政府観光局 [JNTO] グローバルマーケティング部長)

パネリスト: クリスチャン・マンティ氏 (フランス観光開発機構 ジェネラル・マネージャー)

丸山永二氏 (高山市役所 海外戦略部長)

丸山俊郎氏 (信州白馬八方温泉しろま荘 支配人)



蛭川彰



クリスチャン・マンティ氏



丸山永二氏



丸山俊郎氏

テーマ 顧客のニーズはどこにあるのか？ ～多様化する海外旅行市場、新しいデスティネーション—新たな顧客開発のために旅行会社は何をなすべきか～

日本の旅行業の変化、多様性への対応に言及

人口オーナスの時代の中で、旅行形態が多様化し、仕入れ環境が変化している海外旅行市場。WEBや直販での販売競争が激化する中、消費者が何を求めているかを明確にすることが不可欠である。基調講演に立ったエギアルテ氏は「ニューマーケット、ニューチャレンジ、ニュープロダクトの3つに挑戦しなければならない。クラシックデスティネーションに文化的価値を付加するとともに、若い世代、特にミレニアル世代へのアプローチも重要になる」などと提言した。

ロペス氏も「ONE SIZE FITS ALL」時代は終焉した」と世界、日本の旅行業の変化に言及し、FITに合った旅行商品の開発、世代別マーケティングだけでなく女性の社会進出、LGBTといった世代内のダイバーシティ（多様性）にも着目したマーケティングが必要だと指摘した。商品を造成する側である松本氏は成功事例として、複数社が共同で実現したウズベキスタン・サマルカンドへの直行チャーター便ツアーを紹介。「もはや異越同舟と言っている時代ではない。中小でもアイデアを出して他社と共同チャーターを実現することで市場開拓が広がる」と述べた。



ギジェルモ・エギアルテ氏



生田亨氏



松本佳晴氏



ビクトー・ロペス氏

基調講演 観光局から見た日本の海外旅行マーケット (30分)
ギジェルモ・エギアルテ氏 (メキシコ観光局 駐日代表)

パネルディスカッション (60分)

モデレーター：生田亨氏 (株式会社JTBワールドバケーションズ 代表取締役社長)

パネリスト：松本佳晴氏 (株式会社ワールド航空サービス 代表取締役社長)

ビクトー・ロペス氏 (株式会社クオニイジャパン 代表取締役社長)

ギジェルモ・エギアルテ氏

学生向け
セミナー

旅行業界研究講座

主催：一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)

旅行業界を目指す大学生にリアルな情報を提供

旅行業界を志望する大学生を対象に、旅行業の現状・未来・働く人を理解することを目的に授業形式の講義を実施。前半は、沖縄ツーリスト東良和会長が「旅行経営者から見た求める人材」について講義。続いて、英国の名門観光大学サリー大学学部長グレアム・ミラー教授から「これからは観光の時代」と称し、ツーリズムを学ぶ意義などについて講義。JATA矢嶋敏朗広報室長からは、「旅行業はどうなっているの？旅行業の最新状況講義」があった。後半の、「先輩社員大いに語る！旅行業はこんな所」では、さまざまな業務の若手社員6人が業界の志望動機や仕事のやりがいについて語った。「採用担当者大いに語る『当社でほしい人材』」は人事担当者3人が、採用活動へのアドバイスをした。



観光系大学を中心に260人の学生が参加した

学生向け
セミナー

産学連携ツーリズムセミナー

主催：公益社団法人 日本観光振興協会 共催：日本学生観光連盟

学生が観光振興のアイデア・企画を発表、優秀作品を表彰

大学生・専門学校生から観光振興についてアイデアや企画を募り、応募のあった27組から事前審査で選ばれた8組の大学が、それぞれの内容についてプレゼンテーションを行った。

その中から最優秀賞に選ばれたのは大阪府・摂南大学の「キャッシュレスで『観光』と『地域』を元気にする～観光マーケティング重視から『観光ファイナンス』へ～」。優秀賞は山口県・山口県立大学の「巡礼の味を探して～『写し四国』の食風景魅力化プロジェクト～」が受賞した。国土交通省観光庁の鈴木貴典観光産業課長と日本観光振興協会の久保田稔副理事長から表彰が行われ、審査に携わった首都大学東京の清水哲夫教授から、総評コメントが述べられた。



ツーリズム・イノベーション・セミナー

9月22日(金) 東京ビッグサイト 会議棟7階 会議室703

持続可能な地域観光開発セミナー

9:30~12:30

テーマ サステイナブルな 地域観光プロモーション成功の秘訣 ～アジアの事例が学び合う～

持続可能な地域観光開発について各地の代表が議論

日本環境教育フォーラム(JEEF)との連携セミナー第2弾。熊田氏による「観光は貧困や飢餓の解決にも接点を見出せる」との開会挨拶の後、日本国内およびアジア各地の地域観光開発の成功事例3例が紹介された。平井氏は「地域に愛着や誇りが生まれ、地域資源の再認識につながる取り組み」として飯能市のエコツアーを紹介し、高寺氏は「難しいのは開発自体ではなく集客」としてベトナムでの観光開発のプロセスを説明。山田氏は「地域の持続可能性を考えるうえでは単価も重要」とビジネス視点の必要性に言及した。

続くパネルディスカッションでは、さら2氏が加わり、「検索エンジンはいかに口コミを書いてもらうかが上位表示のカギ」(牧野氏)、「客側の視点に立つことが重要」(松尾氏)など、プロモーションについても話題を広げ、持続可能な地域観光開発について議論が繰り広げられた。最後はモデレーターの高寺氏が次の課題として「流通と地域の連携」を挙げてセミナー第3弾開催への期待を表明した。

主催:公益社団法人 日本環境教育フォーラム(JEEF)

開会挨拶:熊田順一氏(JTB総合研究所 コンサルティング第三部長)

プレゼンテーション

事例① 埼玉県飯能市における住民参加型のエコツーリズム

平井純子氏(飯能市エコツーリズム推進協議会 会長/駿河台大学現代文化学部 教授)

事例② ベトナム国の少数民族地域における住民主体による地域活性化

高寺奎一郎氏(JICA観光開発専門家)

事例③ 岐阜県飛騨古川SATOYAMA EXPERIENCEの取り組み

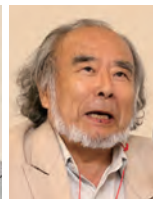
山田拓氏(株式会社社美ら地球 代表取締役)



熊田順一氏



平井純子氏



高寺奎一郎氏



山田拓氏



鮫島卓氏



牧野友衛氏



松尾茜氏

パネルディスカッション

テーマ:サステイナブルな地域観光プロモーション成功の秘訣

モデレーター:鮫島卓氏(駒沢女子大学 観光文化学類 准教授)

パネリスト:事例発表者3名

牧野友衛氏(トリップアドバイザー株式会社 代表取締役)

松尾茜氏(JEEF 国際事業部 ブータン駐在員)

開会挨拶:瀬尾隆史氏(JEEF 事務局長)

ユニバーサルツーリズム・シンポジウム

13:30~15:00

テーマ 心のバリアフリーを促進しよう

コミュニケーションの大切さを再認識

モデレーターの原氏が、障害者差別解消法施行以降もまだ障害者が旅行に参加しやすい状況になっていない現状に触れて口火を切ると、御手洗氏は行政の立場から「オリンピック・パラリンピックは、障害の社会モデルなどについて考えるよい機会」、田口氏は障害者の立場から問題点を提起、その原因を「知らないこと」にあるとした。利用者の心のバリアフリーをモットーとする宿を経営する高尾氏は「できることとできないことを明確にすることが何より大事」と説き、田中氏は旅行業者が抱える課題を認めながら「コミュニケーションをとって、ひるむことなく進む」ことの大切さを説いた。

4人がそれぞれの立場から実践的な議論を繰り広げたパネルディスカッションは、原氏による「今後のユニバーサルツーリズム振興のキーワードはやはり心のバリアフリーとコミュニケーション。2020年を契機とした国を挙げた実践を求め旅行業界もより積極的な取り組みを進めてゆくべき」との言葉で締めくくられた。

主催:JATA障害者差別解消法特別委員会

モデレーター:原優二(JATA 障害者差別解消法特別委員会 委員長(株式会社風の旅行社 代表取締役社長))

パネリスト:御手洗潤氏(内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部 事務局 参事官)

田口亜希氏(日本郵船株式会社 広報CSRグループ/アテネ・北京・ロンドンパラリンピック日本女子射撃代表選手)

高尾憲資氏(南房総白浜 季粋の宿 紋屋 代表取締役)

田中穂積氏(ANAセールス株式会社 CS推進室ツアーアシスト課 課長)



原優二



御手洗潤氏



田口亜希氏



高尾憲資氏



田中穂積氏

テーマ 日本、および世界における ラグジュアリー・トラベル

ラグジュアリーの概念はよりパーソナルに

毎年「今年行くべき世界の場所」を発表しているニューヨーク・タイムズ紙がラグジュアリー・トラベルをテーマにセミナーを主催した。第1部の基調講演ではフア氏が「勝者は旅行者」という表現で、ラグジュアリー・トラベルが「自分たちだけのための旅」「体験型の旅」へと移行している昨今の変化について説明、「より旅に本物が求められる時代になっている」との認識を示した。第2部ではパネリスト3人がそれぞれの立場でラグジュアリー・トラベルの概念について語った後、フア氏をモデレーターに、ラグジュアリー・トラベルに対するアジア各国の国民性の違いやITが果たす役割などについて議論。「ソーシャルメディアは転換期にあり、使い方には注意が必要」（チャン氏）、「マーケットを広い概念で捉えていく必要がある」（柏木氏）、「OTA台頭の中、コンサルティングできる人材の輩出が急務」（柿本氏）など、ラグジュアリー・トラベルの展望とともに課題も提示された。

主催：ニューヨーク・タイムズ

基調講演

ヘレナ・フア氏（ニューヨーク・タイムズ アジア・パシフィック地域エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント）

パネルディスカッション

モデレーター：ヘレナ・フア氏

パネリスト：ジョセフ・チャン氏（ペニンシュラ・シャンハイ ジェネラル・マネージャー&マネージング・ディレクター）

柏木隆久氏（日本政府観光局（JNTO）理事）

柿本佳子氏（株式会社JTB首都圏 ロイヤルロード銀座 ロイヤルロードデスク 営業担当課長）



ヘレナ・フア氏



ジョセフ・チャン氏



柏木隆久氏



柿本佳子氏

地域活性化ネットワーキングフォーラム ～どこにでも観光需要はある！～

9月23日（土）13:00～15:00

東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室605・606

交流人口増加で「地域の活力」を維持 観光戦略軸に復興・発展目指す気仙沼市

2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合との連携によるフォーラムが、初開催された。同連合会長を務める三条市の國定市長は、「地域活性化の中軸に位置づけられる観光について、皆さんとともに我々の意識を共有化したい」と挨拶した。

プレゼンテーションを行った気仙沼市の菅原市長は、東日本大震災で甚大な被害を受けた同市が「海と生きる」を震災復興の基本理念とし、「津波死ゼロのまちづくり」「持続発展可能な産業の再構築」「スローでスマートなまちづくり」という考え方を軸に、「消滅可能性都市」の懸念も指摘されている中、交流人口の増加を通じて地域の活力を維持する施策に取り組んでいることを説明。同市では今年4月、気仙沼観光推進機構を設立、市長自らがトップに立ち、気仙沼版DMO構想の実現を目指している。

フォーラム後には、観光地域活性化を支援する企業による事業内容の説明と名刺交換や情報交換を行うネットワーキングも実施された。



國定勇人氏



菅原茂氏

主催：2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合

登壇者：國定勇人氏（2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合 会長／新潟県三条市長）

菅原茂氏（宮城県気仙沼市長）

JAPAN
TOURISM
AWARDS

第3回 「ジャパン・ツーリズム・アワード」



9月21日(木) 9:45~10:30
東京ビッグサイト会議棟 国際会議場
主催：ツーリズムEXPOジャパン組織委員会
協賛：株式会社ジェシービー



「南三陸ホテル観洋」の女将、阿部憲子氏。
「1000年に一度の災害は、1000年に一度
の学びの場と感じている。きちんと伝えて
将来につなげたい」とコメント

大賞は南三陸ホテル観洋の「語り部バス」 震災を風化させない取り組みの継続性、復興への貢献を評価

第3回となる今年は、国連の定める「持続可能な観光国際年」であることから、持続可能な観光への取り組みをテーマに募集。2016年の158件を大きく上回る239件の応募があり、南三陸ホテル観洋の『震災を風化させないための語り部バス』による地域交流活性化の取り組み』が大賞を受賞。被災直後からの継続性、地域経済の活性化にもつながる取り組みが高く評価された。

また、UNWTO部門賞は全国産業観光推進協議会が受賞。消費者の観光に対する価値観の多様化が進む中、地域の産業を観光素材として提供することで交流人口拡大を目的とした事業を展開、産業観光を定着、かつ持続的な取り組みとしていることが選考ポイントとなった。

審査委員長の本保芳明氏は「内容も多彩かつ粒ぞろいで、日本のツーリズムが新しい時代を迎えていることを実感した。今後のモデルケースとなるレベルの高い取り組みばかりだった」と講評した。



大賞

国内・訪日領域／ビジネス部門

- 株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋
「震災を風化させないための語り部バス」
による地域交流活性化の取り組み



全国産業観光推進協議会



「UNWTO部門賞」とは

世界観光機関（World Tourism Organization：UNWTO）は、国連の専門機関であり、日本を含む約160か国が加盟する観光分野における世界最大の国際機関です。世界観光倫理憲章は世界の環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にしながら、観光産業の発展を最大限に引き出すことを目的としてUNWTO総会（1999年）で採択された規範であり、この普及および実施活動はUNWTOが実施する最も重要な事業の一つとされています。

観光庁の主導により、2014年9月に日本の主要な観光産業の企業・団体が世界観光倫理憲章に署名しました。これを受け、ツーリズムEXPOジャパン組織委員会は、世界で初めて当観光倫理憲章の理解と推進、ならびに観光産業における新しい価値創造を目的とする顕彰制度を設け、責任ある観光産業の持続的な発展を図ることとしました。



領域優秀賞

国内・訪日領域／ビジネス部門

- パークホテル東京
アーティスト・イン・ホテル プロジェクト

地域部門

- 田舎館村むらおこし推進協議会
田んぼアート
- 大歩危・祖谷いってみる会
秘境山間地のインバウンドへの取り組み

海外領域／ビジネス部門

- 株式会社JTBワールドバケーションズ
ハワイにおける顧客利便性の圧倒的拡大を目的とした「OLI OLI」ブランドの確立とマーケットニーズに正対した独自インフラ・サービスの継続的開発



UNWTO部門賞

- 全国産業観光推進協議会
「産業」が「観光」になる
～全国産業観光推進協議会の取組み～



審査委員会特別賞

国内・訪日領域／メディア部門

- 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県の東北6県並びに一般社団法人東北観光推進機構
東北エリアが一体となった初の観光プロモーション映像の制作を行った、デジタルコンテンツプロモーション

海外領域／メディア部門

- 日本放送協会
BSプレミアム「世界ふれあい街歩き」



パークホテル東京



田舎館村むらおし推進協議会



大歩危・祖谷いっぺみる会



株式会社JTBワールドパッケージ



青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県の東北6県並びに一般社団法人東北観光推進機構



日本放送協会

空旅博」/株式会社ジェイティービー 業界唯一の全国店舗対応! JTBの海外透析ツアー及び、透析予約サービスの取組み/プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス/株式会社カーニバル・ジャパン 日本におけるクルーズ人口の拡大と外国客船による日本拠点での定期運行クルーズ旅行の定着/フランス観光開発機構(ATOUT FRANCE)フランスにおける国際的ツーリズム商談会『ランデヴュー・アン・フランス』の実施

地域部門

エストニア政府観光局・ラトビア投資開発公社・リトアニア政府観光局 バルト三国間における共同ツーリズム・プロモーション/ケニア共和国大使館/ケニア政府観光局 ケニア認知度向上プロジェクト/MEXICO TOURISM BOARD Addressing a New Market: "Diversification of Regional Tourist Destinations and creation of New Products for the new generations"

奨励賞

国内・訪日領域 ※応募受付順

ビジネス部門

エジソンハードウェア株式会社 非常用多言語放送装置/株式会社帝国ホテル 持続的な環境活動を通じた直営4ホテルのエコマーク同時取得を達成〜快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮を両立し、ホテル業界の価値向上に貢献〜

地域部門

御坊日高博覧会実行委員会 御坊日高博覧会(御博・おんぱく)/杉原千畝ルート推進協議会 杉原千畝ルート推進協議会/地域観光プロデュースセンター 地方創生は観光の力で! 着地型観光で地域が変わる エコツーリズム・プラットフォーム機能の構築事業

海外領域 ※応募受付順

ビジネス部門

株式会社ナビタイムジャパン 海外向け無料乗換案内サービス[NAVITIME Transit]の開発・提供

地域部門

Kaunas IN Sugihara route

努力賞

国内・訪日領域

ビジネス部門

日本航空株式会社 訪日お客さま向け日本紹介サイト「JAL Guide to Japan」および訪日プロモーションサイト「Explore Japan」の企画・運営

海外領域

ビジネス部門

(株)JTB首都圏 ロイヤルロード銀座 ロイヤルロードデスク 高品質旅行の先駆的な取り組みとして、昨年30周年を迎えた、高品質オーダーメイド旅行「ロイヤルロード」

部門賞

国内・訪日領域 ※応募受付順

ビジネス部門

株式会社ミキ・ツーリスト 欧州サプライヤーを東北へ〜日本人の訪欧旅行のサプライヤー事業者向け訪福島ツアー〜/東京グレートツアーズ 東京グレートツアーズ/佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター 温泉旅行を全ての人へ〜ハード・ソフト両面からのバリアフリー化〜/株式会社諏訪田製作所 OPEN FACTORY/有限会社森の国 大山タウンヒルサイクリングツアー/富士山登山学校ごうりき 富士山における少人数の高付加価値エコツー/有限会社ワックジャパン 「海外富裕層観光客に対する文化体験サービスの提供と講師の育成」/おんたけアドベンチャー 自然湖ネイチャーカヌーツアー/京王電鉄株式会社 中部地方に特化した訪日外国人旅行者に対応できる観光案内所(中部地方インフォメーションプラザ在京王新宿)の運営/ハウステンボス株式会社 変なホテル事業開発室 ロボットを活用したおもてなしビジネス/くまの体験企画 熊野古道伊勢路をつなぎ広げるエコツーリズム/ビッキョ ワイルドライフササチセンター 野生動植物の持続可能な観光活用と保護管理/ゆっくりずむ北海道 「美味しく・楽しく・感じる」地域を繋ぐエコツー/株式会社JTBメディアリテリリング 復興支援から地域交流の創造へ(岩手県大槌町とJTB旅物語の取組み)/クラブツーリズム株式会社 シリーズで全てをあるく! 東海道五十三次の旅/江ノ島電鉄株式会社 台湾との観光連携事業/東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本のシニア向け会員組織「大人の休日倶楽部」による10年以上にわたる観光流動創出/株式会社美ら地球 SATOYAMA EXPERIENCE/東日本旅客鉄道株式会社 クラウドストレイ「トランスイット四季島」の運行

地域部門

特定非営利活動法人信越トレイルクラブ 信越トレイル「トレッキングによる訪日外国人向け里山自然・文化体験」/福島県 ダイヤモンドルート情報発信事業/公益社団法人びわ湖大津観光協会 「かるたの聖地・大津」観光客誘客促進事業/特定非営利活動法人 おおきままるごとツーリズム協会 人と自然と文化が響きあう! いきみ(大意味)まるごと体験!/スタービレッジ阿智誘客促進協議会 スタービ

レッジ阿智 日本一の星の村/(一社)うるま市観光物産協会・うるま市 島アートプロジェクト事業「イチハナリアートプロジェクト+3」/一般社団法人 草津温泉観光協会 草津温泉観光協会DMO/株式会社よしもとラフ&ピース 島ぜんぶでおーきな祭〜沖縄国際映画祭〜/一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社 日本版「地域連携DMO」/一般社団法人アレルギー対応沖縄サポートデスク 「沖縄を、2020年までに、アレルギー対応先進リゾートにしよう!」/一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 全国温泉地における「ONSEN・ガストロノミーウォーキングコース」の認定と普及活動/すみだ地域ブランド推進協議会 すみだ地域ブランド戦略/おおたオープンファクトリー実行委員会 おおたオープンファクトリー/小松市ブランド力アップのテーマによるまちづくりと観光戦略/倉吉まち魅力開発プロジェクト実行委員会 ポップカルチャーの活用による世界に直結するまちづくり 〜レトロとクルールの融合・調和による観光誘客〜/NPO法人 英田上山棚田団 団んで良し、来て楽しい、新しい村づくり/NPO法人炭鉱の記憶推進事業 炭鉱遺産で地域を元気にする観光まちづくり/一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 かやぶきの里「美山」は観光でがっちり! /一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 台風時観光客対策協議会

メディア部門

九州朝日放送「福岡恋愛白書」海外番組販売の取り組み/広島フィルム・コミッション アニメーション映画「この世界の片隅に」の応援を通じたロケ地広島島の魅力発信/株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル 訪日旅行客向けマンガアプリ「Ms.グリーン」/日本放送協会 NHKワールドTV Journeys in Japan/LIVE JAPAN事務局 LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO/株式会社テレビ東京コミュニケーションズ テレビ東京「厳選いい宿」/株式会社サントウ 日本応援コミュニティ「JAPAN COLLECT」による千葉鴨川の魅力発信プログラム

海外領域 ※応募受付順

ビジネス部門

株式会社アサヒトラベルインターナショナル 50年にわたる教育旅行に特化したマーケットの拡大/株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク 看護師の実務経験が豊富なスタッフが同行する! 初めてのバリ 6日間/関西エアポート株式会社 世界に一番近い旅の博覧会「関

〈各部門の説明〉

●ビジネス部門

(国内・訪日領域/海外領域)

国内外への交流人口の拡大や、ツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した取組を表彰します。

●地域部門

(国内・訪日領域/海外領域)

国・地域の観光関連団体が一体となつての魅力ある観光地域づくりや、国・地域の観光資源を活かした総合的な地域活性化に向けての取組を表彰します。

●メディア部門

(国内・訪日領域/海外領域)

国内外への旅行需要喚起・促進および地域の価値向上に大きく貢献した広報媒体やプロモーションなどの取組を表彰します。

〈審査委員長〉

本保芳明

国連世界観光機関

駐日事務所 代表

首都大学東京 特任教授



〈国内・訪日、海外領域審査委員〉

石原義郎

株式会社航空新聞社 取締役編集長

浅井忠美

株式会社日本政策投資銀行 地域企画部長

浦井雅之

東京都市大学 特別教授・国際観光施設協会 副会長

佐藤隆正

日本貿易振興機構(ジェトロ) サービス産業部 前部長

太下義之

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 芸術・文化政策センター長

大戸 学

横浜商科大学 商学部 教授

アダム・フルフォード

Fulford Enterprises, Ltd. CEO

松山良一

日本政府観光局(JNTO) 理事長

山口範雄

公益社団法人 日本観光振興協会 会長

田川博己

一般社団法人 日本旅行業協会 会長

〈UNWTO部門賞審査委員〉

田川博己

ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長

久保成人

公益社団法人 日本観光振興協会 理事長

松山良一

日本政府観光局(JNTO) 理事長

志村 格

一般社団法人 日本旅行業協会 理事長



ツーリズム EXPO ジャパン 2017 特別表彰

フィリピン政府観光省

ビーチリゾートの魅力に加え、留学・ロングステイ等次々に新しい顧客層を開拓するとともに、最近では女子旅のプロモーションを積極的に行うなど、日本からフィリピンへの渡航者数拡大に貢献している。



BtoBネットワーク強化を目指し、旅の祭典が華やかに開幕!

2017年は、初日の商談会終了後に参加者および出展者、業界関係者のBtoBネットワーキング強化を図るために開催。
海外と訪日・国内の会場を分けることで、対象者同士のさらなる関係強化を目指し、大いに盛り上がった。

WELCOME RECEPTION JAPAN

東京ビッグサイト 東展示棟8ホール／来場者数：約1,200名



[アンヴェールセレモニー登壇者]

ご来賓：石井啓一氏（国土交通大臣）／秋元司氏（国土交通副大臣）／アドラ・ラガブ氏（エジプト観光副大臣）／クリスチャン・マンティ氏（フランス観光開発機構 ジェネラル・マネージャー）／セルゲユス・ティホミロヴァス氏（リトアニア共和国 経済大臣顧問）／ダト・スリ・モハメッド・ナズリ・ビン・アブドゥル・アジズ氏（マレーシア観光文化大臣）／マルセラ・バシガルボ氏（パラグアイ共和国観光庁長官）／ワンダ・コラゾン・T・テオ氏（フィリピン観光大臣）／トコジレ・カーサ氏（南アフリカ観光大臣）／コープカーン・ワッタナワランクーン氏（タイ観光・スポーツ大臣）／アジズ・アブドゥハキモフ氏（ウズベキスタン共和国観光開発国家委員会 総裁）／三宮維光氏（株式会社ジェシービー・インターナショナル 代表取締役副会長）／大西賢氏（日本航空株式会社 取締役会長）／志岐隆史氏（全日本空輸株式会社 代表取締役副社長 執行役員）／富田哲郎氏（一般社団法人 日本経済団体連合会観光委員会委員長）／サラ・マシュー氏（太平洋アジア観光協会 会長）／スー・ジン氏（UNWTO 総会・執行理事会担当部長 兼 アジア太平洋地域部長）／アニータ・メンディラッタ氏（国連世界観光機関 UNWTO 事務局長スペシャルアドバイザー）／ジェラルド・ローレス氏（世界旅行ツーリズム協議会 会長）
主催者：山口範雄（公益社団法人 日本観光振興協会 会長）／田川博己（一般社団法人 日本旅行業協会 会長）／松山良一（日本政府観光局（JNTO） 理事長）

観光大国へ邁進する日本と世界の関係者が交流

訪日・国内旅行関係者が一堂に会した「WELCOME RECEPTION JAPAN」では、日本政府観光局（JNTO）の松山良一理事長が冒頭で「観光は産業として重要。相互理解や地域活性化の促進のため官民挙げて努力している」と挨拶。来賓の石井啓一国土交通大臣、菅義偉内閣官房長官からは観光先進国の実現に向けて全力で取り組んでいくとの力強いご挨拶をいただいた。

国内外のキーパーソンらによるアンヴェールセレモニーが行われた後、フィリピンのワンダ・コラゾン・T・テオ観光大臣による乾杯が行われた。

この後、ミス日本2017グランプリの高田紫帆さんの着物姿でのスピーチがあったほか、参加した招待者、商談会のバイヤー、メディア関係者は、日本の「和」を感じられるパフォーマンスやアトラクション、食などを楽しみ、DVDなどの日本のコンテンツをお土産として持ち帰った。



日本政府観光局（JNTO）
理事長
松山良一



国土交通大臣
石井啓一氏



内閣官房長官
菅義偉氏



フィリピン共和国 観光大臣
ワンダ・コラゾン・T・テオ氏



ミス日本／ミス着物
高田紫帆さん



日本酒蔵ツーリズム推進協議会



4K映像（凸版印刷）



アニメツーリズム



National Parks of Japan

National Parks of Japan



伊藤園 JAL JETS



JAL JETS



DRUM TAO



変身歌舞伎 (NTT)



iLi (ロクバー)



WIZ (KIPS)



ご当地キャラクター グリーティング

RECEPTION

9月21日(木) 18:30~21:00

協賛：日本航空株式会社／全日本空輸株式会社／トラベルポートジャパン株式会社／株式会社伊藤園

WELCOME RECEPTION WORLD

東京ビッグサイト 会議棟1階レセプションホール／来場者数：約600名



一般社団法人
日本旅行業協会 副会長
菊間潤吾



国土交通副大臣
秋元司氏



国土交通省観光庁 長官
田村明比古氏



トラベルポートジャパン株式会社
代表取締役社長
東海林治氏

世界6地域にパーティー会場のエリアを分けて歓談

アウトバウンド関係者を招いて開催されたこのレセプションでは、会場を東アジア、アジア、オセアニア&太平洋、南北アメリカ、ヨーロッパ、中東&アフリカの6エリアに分け、それぞれのエリア関係者により歓談が行われた。

冒頭では、菊間潤吾JATA副会長が「今年のアウトバウンドは久々に1,800万人台になると予想される。今年、JATA内に発足したアウトバウンド促進協議会を通じて、海外旅行をより促進していきたい」と挨拶した。

来賓の秋元司国土交通副大臣、田村明比古国土交通省観光庁長官からはアウトバウンドの重要性などについて力強いご挨拶をいただいた。続いてGDS事業「アポロ」「ワールドスパン」を日本で展開するトラベルポートジャパンの東海林治代表取締役社長が乾杯の音頭をとった。

ステージでは女性ユニット「WiZ」のイリュージョンショー、全日空の職員によって構成される「ANA Team HND オーケストラ」の演奏などのパフォーマンスも行われ、会場を華やかに盛り上げた。

【登壇者】

ご来賓：国土交通副大臣 秋元司氏／国土交通省観光庁 長官 田村明比古氏／トラベルポートジャパン株式会社 代表取締役社長 東海林治氏

主催者：一般社団法人 日本旅行業協会 副会長 菊間潤吾



商談会

**B to B強化策が功を奏し、商談件数は前年比2.5倍に！
訪日ランドオペレーター商談会も新設**



日本の旅行会社と国内外のセラーが商談を交わし、旅行商品造成や情報交換を促進することを目的とした「アウトバウンド商談会」と「国内旅行商談会」に加え、今年はBtoBプログラム強化の一環として、新たに「訪日ランドオペレーター商談会」が、9月21日(木)に事前アポイントメント制で実施された。続く9月22日(金)は、アウトバウンド商談会と国内旅行商談会は各出展ブースに場を移し、1日目と同様にアポイントメント制で実施。訪日ランドオペレーター商談会の会場は1日目から変わらず9月23日(土)までの

3日間にわたって実施した。

各商談テーブルでは、今後のビジネスに役立てようとバイヤーとセラーの双方が熱心に情報交換を行う姿が目立った。アポイントメントは主にTEJマッチングシステムによって設定され、2日間で最大22の商談を行った。

また、9月21日(木)には出展者とメディアの情報交換を図るための「メディアミーティング」も実施され、既存メディアだけでなくオンラインメディアも多数参加した。

商談会2017年の特徴

- ① 出展者ブースでの商談を実施
- ② 1日のアポイントメント制商談を2日間に拡大(最大22枠へ)
- ③ キーパーソンリスト※を活用した会期前～会期中～会期後のコミュニケーション強化
- ④ WELCOME RECEPTION参加でネットワーク拡大
- ⑤ 訪日ランドオペレーター商談会を新設
- ⑥ 海外団体バイヤー向け特別セミナーの実施(教育旅行セミナー、インセンティブセミナー)

※キーパーソンリストとは出展者(セラー)並びにバイヤー(商品企画・造成担当者)に対し、事前に双方のコンタクト情報をデータで提供。当日の各出展ブース内商談・アポイントメントはもちろん、事前・事後の商談(コンタクト)も可能なデータベースです。



バイヤー・セラーの声

- ・効率よく海外のセラーと商談や情報交換をすることができた。こういった場を設けることでBtoBを強化しようという方向性には非常に好感が持てる。(アウトバウンドバイヤー)
- ・1日目には8件のアポイントメントを取り、多くのバイヤーと話ができる素晴らしい機会となった。今回お会いした方と、今後のビジネスでつながれることを期待したい。(アウトバウンドセラー)
- ・TEJマッチングシステムにより、無駄なく国内外のセラーと話すことができた。(訪日バイヤー)
- ・展示会場は広く、移動に時間はかかったが、1日目と異なりブースも見ることができてよかった。(国内バイヤー)
- ・訪日外国人旅行者を増やしたいという思いがあるため初めて参加したが、商談会の規模が大きくて驚いた。ゴールデンルート以外の素材を探している方にはとても興味を持っていたので、素晴らしい機会となった。(訪日セラー)
- ・もう少しアポを取っておけばよかったと思うが、お会いできた方とはそれぞれ有意義な商談ができた。(国内セラー)

メディアの声

- ・海外の政府観光局の方と会うことができ、今後の事業展開などにプラスになりそうなさまざまな話があった。
- ・英語メディアなので、外国人に情報を発信したい地方自治体からの情報提供が多かった。今後の紙面づくりに役立てられそうだと感じた。

アウトバウンド商談会・国内旅行商談会

1日目:9月21日(木) 9:30~18:00

東京ビッグサイト 東展示棟 6ホール

バイヤー(旅行会社)がデスクに着席し、セラー(観光局、ホテル、観光施設等の出展者)が訪問

2日目:9月22日(金) 10:00~18:00

東京ビッグサイト 東展示棟 1~6ホール

セラーの出展ブースにバイヤーが訪問

★両日もTEJマッチングシステム(自動マッチング)で確定した20分のセッションを実施

[アウトバウンド商談会]

アウトバウンドセラー 366社・517名/アウトバウンドバイヤー 191社・265名

[国内旅行商談会]

国内セラー 223社・418名/国内バイヤー 91社・128名



訪日ランドオペレーター商談会

東京ビッグサイト 東6ホール(3日間)

1日目:9月21日(木) 9:30~18:00

2日目:9月22日(金) 10:00~18:00

3日目:9月23日(土) 10:00~18:00

バイヤーがデスクに着席し、セラーが訪問

★1・2日目はTEJマッチングシステム(自動マッチング)で確定した20分のセッションを実施
3日目はオープン・セッション形式

セラー 89社・106名/バイヤー 31社・55名

メディアミーティング

9月21日(木) 9:30~18:00 ★オープン・セッション形式

東京ビッグサイト 東6ホール

参加者数(70社・138名)

VJTM連携プログラム —— バイヤーズランチ/EXPO内覧会

インバウンドバイヤーが展示会を内覧

「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート(VJTM) 2017」参加の海外バイヤーが今年もツーリズムEXPOジャパン展示会を訪問した。9月22日(金)、23日(土)に東京ビッグサイト東6ホール内 特設ビジネスラウンジでのVJTMバイヤーズランチで環境省のプレゼンテーション「Visit! National Park -Stories to Experience National Parks of Japan-」を聴講した後、展示会場内覧を行った。

本年は展示会場内覧のツアー参加者を募り、参加したバイヤーは匠の技を間近で見学したり、試飲やVRで日本の地域の魅力を感じてもらった効果的な内覧会となった。



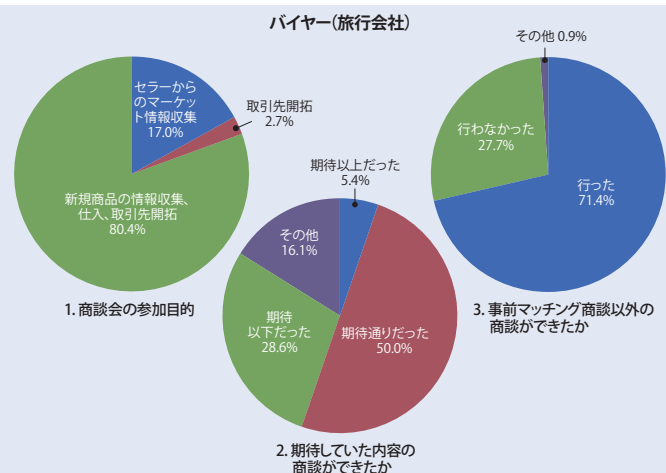
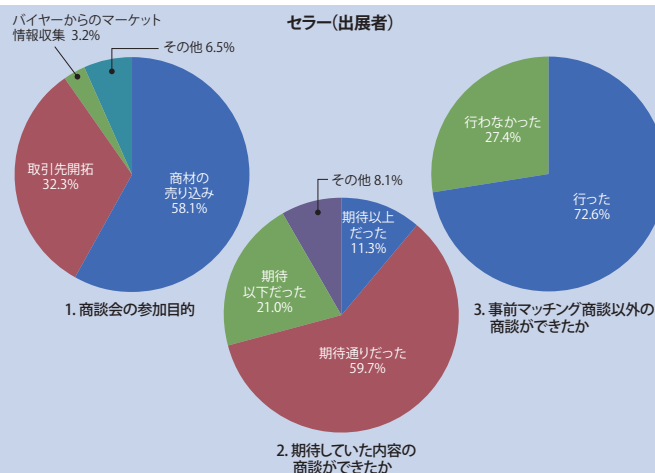
・9月22日(金) 213名

・9月23日(土) 215名

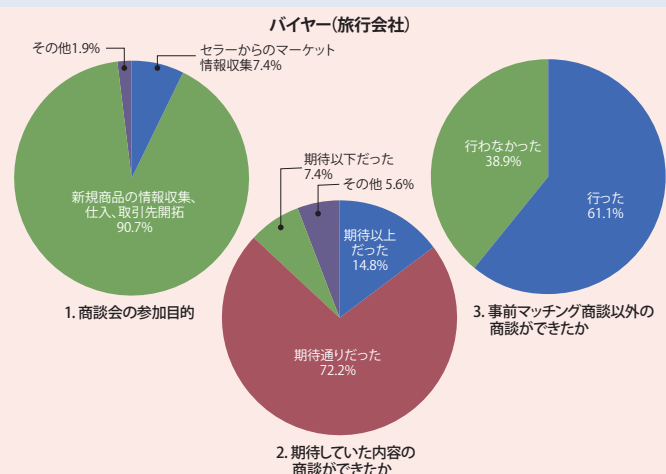
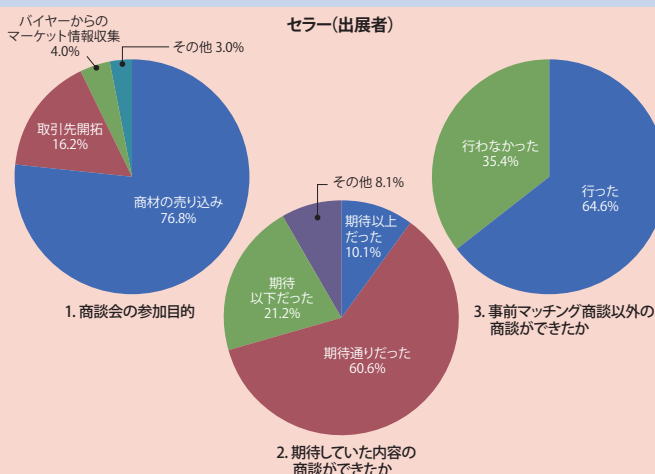


商談会参加者アンケート

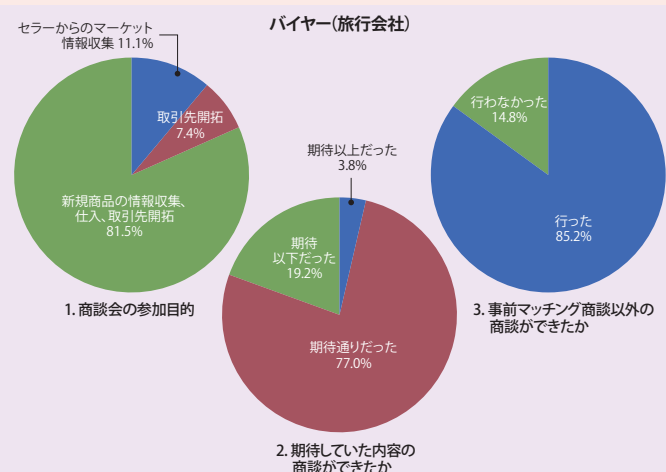
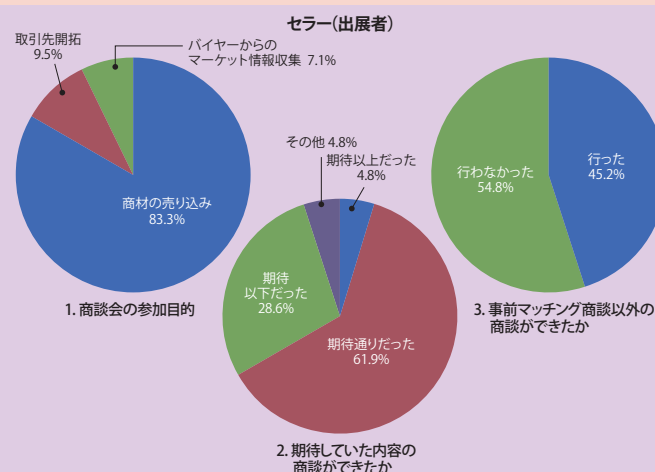
アウトバウンド商談会



国内旅行商談会



訪日ランドオペレーター商談会



出展者ブースでの商談について

セラーコメント

良かった点

- ブース内の設置物などを説明し、臨場感ある商談ができた。
- ブース内の商談はパンフ等豊富にあるため、PRLやすかった。
- 商品の試食提供をすることができた。

課題点

- 商談スペースの確保が必要であった。
- 商談が重なり、ブース内では対応できず、特設の商談スペースを活用すればよかった。
- ブースでの商談は良かったが、周囲のブースの雑音が気になった。

バイヤーコメント

良かった点

- ブースを回りながら商談するのは、視察も兼ねられるので良い。
- 特産物などわかりやすかった。
- その地域の雰囲気がつかめた。

課題点

- 会場が広いので、ブースの回り方の案内がほしかった。
- 周囲のブースが騒々しくて落ち着いて話せない。
- ブーススペースが狭くてゆとりがなかった。



インバウンド・観光ビジネス総合展

9月21日(木)～23日(土・祝) 10:00～18:00

東京ビッグサイト 東6ホール

主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社

来場者：約15,500名

9月21日(木) 約6,500名

9月22日(金) 約6,000名

9月23日(土) 約3,000名

観光ビジネスを支える技術・サービスが集結 異業種からの出展も多数

ツーリズムEXPOジャパンと日本経済新聞社が共催するB to B展示会として、ツーリズムEXPOジャパン2017のフェアinフェアとして、「インバウンド・観光ビジネス総合展」が初めて開催された。訪日観光ビジネスを支援するマーケティング、多言語・ICTソリューション、映像・ウェブコンテンツ、関連機器・インフラ支援、空間設計・インテリア、人材支援、物販・体験企画などを手がける80の企業や団体が出展した。

旅行業・観光産業とは異なる業種の企業・団体による出展も多く、特に多言語・ICTソリューション関連企業のブースでは、最新のVRを活用したプログラムや最先端の翻訳機器などのデモンストレーションを行っており、多くの来場者が足を止めて実際に体験していた。

また、「インバウンド・観光ビジネス総合展」のプログラムとして各種セミナーも開催。会場はインバウンドビジネスや観光ビジネスのヒントを得ようと多くの人が詰めかけ、立ち見が出るほどの盛況となった。

AI運行バス デモ運行&フリー試乗を実施!



9月22日(金)には、観光交通の未来の形として、人工知能(AI)とIoTで、ルートを固定せず需要に応じて配車する乗合型の交通サービス「AI運行バス」を紹介。会場を飛び出し、実際に乗車して体験できる約35分間のデモツアー&フリー試乗を実施した。

PICK UP!

会場内セミナー「インバウンドベンチャー最前線!」



[登壇者]

佐野健一氏 [「インバウンドベンチャーの会」会長、ビジョン 代表取締役社長]

●第1部(講演) 講師：原田 劉 静織氏 [ランドリーム 代表取締役(前トリップアドバイザー代表)]

●第2部(討論会) 講師：工藤慎一氏 [ecbo(エクボ) 代表取締役社長] / 松居健太氏 [ポケットチェンジ 代表取締役]

モデレーター：山野智久氏 [アソビュー 代表取締役社長]

●第3部(講演) 講師：濱野智成氏 [トレンドExpress 代表取締役社長]

●第4部(討論会) 講師：須田健太郎氏 [フリープラス 代表取締役社長] / 青木優氏 [MATCHA 代表取締役社長] / 紀陸武史氏 [Huber.(ハバー) 代表取締役CEO]

モデレーター：他力野淳氏 [バリューマネジメント 代表取締役]

インバウンド事業を“大きな産業”にするために

インバウンド・観光ビジネス総合展のプログラムの一つとして、「インバウンドベンチャー最前線!」が開催された。インバウンドベンチャーの会の佐野健一会長は冒頭で「インバウンドを大きな産業にすることを実現したい」などと挨拶した。

セミナーは4部構成で、第1部では原田 劉 静織氏が「観光大国を目指す日本の近道」というテーマで講演。第2部は「導入数急増中! 訪日外国人であふれる街での課題に応える新サービス」というテーマで討論会を実施。登壇した工藤慎一氏と松居健太氏が、訪日外国人向けのサービスを考える上での考え方を披露した。

『爆売れ』を実現したブランディング事例を大公開! がテーマの第3部の講演では、濱野智成氏が爆売れを実現するコツについて語った。第4部では「進化する日本のおもてなし! 訪日外国人の満足度とは」をテーマに、須田健太郎氏、青木優氏、紀陸武史氏の3名が、近年の外国人旅行者の満足度のトレンドについて討論した。



業界日 (9月22日 (金)) 来場促進プログラム・施策

立体的な視野を持った“プロ”を目指す観光業界関係者向けプログラム ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

業界関係者が、これまでの経験値に「深み」「厚み」「幅」を加え、一流のプロフェッショナルの登竜門となるべく企画されたセミナー。今年も観光業界のさまざまな視点から必見・必聴のコンテンツを集めて展開された。各ステージやセミナールームには、ビジネスに役立つ情報を求めてたくさんの業界人が集い、国内外のプロによる講義を熱心に聴講した。

特定の国や地域を熟知したスペシャリスト向け企画 エリア・スペシャリストクイズラリー

今年初の試みとして、特定のエリア (国・地域) を熟知したエリア・スペシャリスト (旧デスティネーション・スペシャリスト) の旅行会社社員を対象に、クイズラリーを実施した。会場内海外出展エリア26カ所を回り、各エリアのクイズに答えると抽選で豪華賞品がプレゼントされるもので、多くのスペシャリスト認定者が挑戦した。

9月22日 (金) 東京ビッグサイト 東展示棟1-3ホール 海外出展エリア 賞品協力: ニュージーランド航空、レイルヨーロッパ他27社・団体



ツーリズムEXPOジャパン (TEJ) 会議室利活用と業界来場の連携 各種団体や事業者の会議・会合誘致

旅行会社や観光関連事業者が定期実施する全国会議や、各協会・連盟などが実施する会員向け会合に対し、TEJ展示会場内及び、隣接する会議室を提供、27団体・企業が利用し、TEJの認知促進と展示会への来場誘致の連動を図った。

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナータイムテーブル

会場 時間	Aステージ	Bステージ	Japanステージ	セミナールーム1	セミナールーム2	セミナールーム3	セミナールーム4	セミナールーム5
9:30								
10:00					10:00~11:00 親日家バグアイ ～豊かな自然と文化、訪 れると幸せになれる国 の魅力を発見!～			10:00~11:00 苦情対応入門 ～クレームは怖くない～
	10:30~12:30 貸切バスの運賃・料 金制度等と国内募集 型企画旅行における 貸切バス会社名の表 記に関する説明会	10:30~12:00 新しい通訳案内士制 度とランドオペレータ ー登録制度について	10:30~12:30 JATAインバウンドシ ンポジウム 文化庁・ 環境省の挑戦! ～COOLな日本の宝 日本遺産、国立公園で 観光先進国を目指す～		11:30~13:30 Meet Colors! 台湾ーカラフルな台 湾を探しに行こう! 最新情報		12:00~14:00 JATA 関東支部 定例幹事会	
12:00		12:30~14:00 海外卒業旅行企画コ ンテスト2017 ～地方空港出発 “学 生と旅行会社でつく る” 海外企画旅行～	13:00~14:00 インバウンドに向けた デジタルマーケティング 3.1			13:30~14:30 岩手県 復興、そして新しい三陸を目指して ～みちのく潮風トレイルや 再開した龍泉洞への誘い～		14:00~15:30 2019年新卒採用 対策セミナー ～旅行・観光業界 最新 就職・採用事情～
14:00		14:30~15:30 観光立国の鍵を握る地方都市 ～戦略的2WAYツーリ ズムのシナリオとは?～	14:30~16:00 「大学生観光まちづ くりコンテスト2017 成果発表会」	14:30~15:30 【コ・フェスタ2017 オープ ンイノベーションセミナー】 海外文化発信イベントを 活用したDMO、地方自治 体の海外PRの秘策とは	14:00~15:30 イラン観光セミナー	15:00~16:00 秋田県 爽快 世界遺産 白神山地、五能線癒 しの旅へ	14:30~16:00 関東支部 LADY JATA 旅行業界で輝き続け るために ～キラキラ女子のサク セスストーリー～	
16:00	旅の安心・安全を支える 「現場力」を考える	16:45~18:00 ①「ツアーコンダクター・オ プ・ザ・イヤ-2017」表彰式 ②「ベテラン添乗員が語る! ～より良い旅作りのために～」	16:30~18:00 ～日本版DMOの先行事例であ る全国13観光圏による地方へ のインバウンド誘客の取り組み～ 世界に向けて発信する 「UNDISCOVERED JAPAN ～まだ知らない日本～」		16:00~17:30 中央アジアの魅力	16:30~18:00 農林水産省 新しい旅のスタイル＝ 「農泊」で新たな需 要を開拓!	16:30~18:00 フランスの 美しい村々と 地方の魅力	16:00~17:30 元国税査察官が語る 税務調査への対応
18:00								

JATA インバウンドシンポジウム

文化庁、環境省の挑戦！
～COOLな日本の宝「日本遺産」
「国立公園」で観光先進国を目指す～



【モデレーター】
松本大学名誉教授 佐藤博康氏
【パネリスト】
●文化庁文化戦略官 熊本達哉氏
●環境省自然環境局国立公園課
国立公園利用推進室室長補佐
谷垣佐智子氏
●株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル 西日本営業部 欧州担当
グレーベ・トーベン氏
●プロガー／レポーター／ライター／タイ語教師 パナーラット・キャット氏
10:30～12:30 Japanステージ

日本の宝を観光の宝に、官が活用へ

インバウンド需要拡大の中、日本は本当に訪日外国人が求める旅を提供できているのか。日本らしい文化財や自然風景を点で見るだけでなく、そこに暮らす人々や歴史を組み合わせ、一つのストーリーに仕立てて面で見せる、そんな取り組みに文化庁や環境省が乗り出している。

これまで文化財の保全に努めてきた文化庁は、2015年に魅惑的なストーリーを持つ文化財を「日本遺産」に認定。現在54件が登録されており、100件を目指しながら情報発信や普及事業などソフト事業をサポートしていくという。

環境省も国立公園満喫プロジェクトを始動。34のうち8つの国立公園を先行的に強化し、2020年まで利用者を現在の2倍にあたる、1000万人に引き上げていく計画だ。とはいえどちらも課題は多く、特にそのストーリーを伝えるガイドの育成が急務となる。外国人2人のパネリストからは「おもてなし」の想いが先走り、訪れる相手を深く知ろうとしない点が指摘された。インバウンドは小さな外交であるという意識も求められている。

インバウンドに向けたデジタルマーケティング3.1



【講師】

- グーグル合同会社 広告営業本部 観光立国推進部長/
内閣官房クールジャパン地域プロデューサー
- せとうちDMO エグゼクティブマネージャー

陳内裕樹氏
村木智裕氏

13:00～14:00 Japanステージ

せとうちが実践、緻密なデジタル戦略

地域の稼ぐ力を掘り起こすDMOにおいて、ICTデジタルマーケティングの活用は必須の時代。さまざまなデータを取得し、定量化することで、事業の方向性を「見える化」できるからだ。今後もこの流れは加速すると予測される中、こうしたマーケティングを実践しているせとうちDMOの具体例が紹介された。

せとうちでは、外国人延べ宿泊数を2020年までに600万人泊に伸ばす目標を掲げている。しかしこれまでは数字的な戦略性に欠けていたことから、2016年に世界水準ともいえるデジタル戦略、DMP（データマネジメントプラットフォーム）を実施。旅行者が旅するまでの過程を分けて成果を測る手法で、具体的には6つの動画を作成してウェブサイトへ誘導を試みた。

その結果、展開した7つの国別に視聴傾向、ウェブへの流入傾向、およびコストを明確な数字で把握。今後は数値に基づく効率的かつ効果的な手法の選択が可能となった。DMO事業はより緻密なデジタル戦略の時代に入ったといえそうだ。

セミナールーム6	セミナールーム7	セミナールーム9	セミナールーム10	セミナールーム11	セミナールーム12	セミナールーム13	セミナールーム14	会場 時間
	9:30～10:30 海外教育旅行 セミナー	9:30～10:30 海外インセンティブ セミナー						9:30
10:00～12:00 ミャンマーの新しい デスティネーション	11:00～12:00 交流人口頭打ちの時代 …観光振興の切り札！ 「ロングステイ誘致によ る地域振興活用戦略」			10:30～11:30 ～海外教育旅行・留学 マーケットにおける安 全対策セミナー～		10:00～12:00 黒海沿岸地域の魅力		10:00
	12:30～14:00 ベトナムの魅力を ご紹介 ～トゥアティエン・フ エ省、ダナン、クアン ナム省、ハノイ～		12:45～14:45 DMOネット 活用セミナー	12:00～13:30 旅の力で若者を 動かす！ ～ざとり世代のハート に火をつけるには？～	12:40～14:10 環境省 世界の宝 日本の 国立公園を再発見！ ～あなたは、その物語 を知ってますか？～		13:00～14:00 ジャパンショッピングツー リズム協会主催トークセッション 「地域で稼ぐ」 ～体験・交流・買い物 域内消費の活性化～	12:00
13:00～15:00 旅行業界における 女性の活躍推進 ～女性の心に “ハマる施策”と “スベる施策”～	14:30～16:00 ブータンの魅力 再発見	14:30～18:00 経営塾	15:00～15:50 国内観光動向のデータを科学的に読み解く ～観光地域づくりに必要な基礎データ×位 置情報×ビッグデータ(KDDI×コトブキ×電通 ビッグデータ(観光予約プラットフォーム)～	14:00～15:30 ロシア デスティネーション セミナー	14:30～16:00 日本版DMOセミナー 「日本版DMOの機能と 課題～山陰インバウ ンド機構の現場から～」	14:00～15:30 日本の「隔障」へ、 さらにその先へ…。 ポーター・ツーリズム の魅力。	14:30～16:00 グローバル コミュニケーション シンポジウム2017 ～ツーリズム・テクノ ロジーが切り拓く 新たな世界～	14:00
16:00～17:30 広報会議編集長が語る 「ツーリズム産業」 広報はどうすればいい？！	16:30～18:00 Presentation of Moscow		16:10～18:00 UNWTO受賞賞記念 「全国産業観光推進協 議会シンポジウム」 ～地域ビジネスとして の産業観光～	16:00～17:30 キューバセミナー	16:30～18:00 文化庁 歴史・文化が織りなすス トーリー「日本遺産」 ～観光商品化の可能性～			16:00
								18:00

展示会 [会場マップ 東展示棟 1・2・3 ホール]



出展者の声

韓国観光公社

マーケティングマネージャー 伊藤 清香氏

平昌冬季五輪開催を翌年に控え、韓国観光を一層盛り上げようと多彩なコンテンツを用意し、これまでで最大の58ブースで出展。関係者が一致団結して「#だけじゃない韓国」のコンセプト通りに韓国観光の新しい魅力を最大限にPRできたことが、グランプリ獲得につながったのではないかと考えています。コンセプトに合わせた ①ブース回遊策のクイズラリーやSNS投稿イベントの実施、②ブース内イベントや体験の企画に力を入れました。

2018年は、業界の方々にも各コンテンツを気軽に体験し、韓国観光の新しい魅力を発見いただけるような時間作りを期待したいです（午前はBtoB、午後はブース体験など）。



出展者の声

東 展 示 棟	東3 ホール	東2 ホール	東1 ホール
	東6 ホール	東5 ホール	東4 ホール



台湾観光協会東京事務所 所長 鄭 憶萍氏

台湾ブースでは、台湾各地より200名にも及ぶ旅行関係者が訪日し、最新の観光情報を発信する場としては効果的でした。今年は開催テーマに合わせ、VRや「Meet Colors!台湾」をコンセプトに映像、LEDや台湾と会場でのLIVE中継など新しい形で台湾を体感、触れてもらう工夫を盛り込みました。

2018年はさらに業界日が強化されるということなので、BtoBに向けた新しい提案、サービスを期待します。2017年の台湾ブースはBtoB向けのコンセプトが弱く、商談の場としては機能的ではなかったと思うので、2018年はBtoBとBtoCの場面変換が可能な、皆様に喜んでもらえるコンセプトにチャレンジしたいと思います。

台湾観光協会 特別賞受賞



出展者の声

Iruka Hawaii LLC. Shinon Ichiki氏

今回の出展は、弊社にとって実のある内容になったと感じています。小さなブースでしたので、業界日にはミーティングスペースの確保、一般日には来場者が興味を持って来ていただけるよう、またいくつかのイベントになるべくスムーズに回るよう配慮しました。

イベントの開催テーマに合わせて、ツアー写真やVR体験など弊社ツアーを身近にそして新鮮な形で感じていただけるよう考慮しました。次回出展の際は、自社のブースでミュージックなどを流せたらと思っています。

展示会 [会場マップ 東展示棟 4・5・6 ホール]



準グランプリ受賞

出展者の声

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
コーディネーター 高橋 依子氏

今年は「どこか懐かしい沖縄」をテーマに、赤瓦屋根をデザインしたブースとし、琉球衣装の着付けや三線体験、オリジナルフォトブックの作成など来場者参加型のコンテンツのほか、沖縄伝統芸能ステージ、沖縄県出身のお笑い芸人によるPR、特産物の試飲、試食なども準備し、多くの来場者の皆様に楽しんでいただけた様子を感じました。BtoB対応としては、商談が行いやすいよう業界日のみ各ブースへ椅子を配置し、じっくりと話ができるよう工夫しました。

次回も沖縄ならではの魅力をあらためて感じていただくとともに、新しい沖縄の魅力も併せてご提案できるよう、県内観光関連事業者一体となって取り組んでいきたいと考えています。



実行委員長賞

出展者の声



内覧風景



総務副大臣 兼 内閣府副大臣
坂井学氏



国土交通大臣政務官
築和生氏



国土交通大臣政務官
秋本真利氏



環境事務次官
森本英香氏



環境省 自然環境局長
亀澤玲治氏



東京都知事
小池百合子氏



愛知県知事
大村秀章氏



衆議院議員
二階俊博氏



衆議院議員
西村明宏氏



衆議院議員
武井俊輔氏



参議院議員
鶴保康介氏



株式会社ジェーシーピー
代表取締役兼執行役員社長
浜川一郎氏

表敬訪問



オーストラリア
政府観光局
本局局長
ジョン・オサリバン氏



リトアニア
経済大臣顧問
セルゲウス・ティホモロヴァス氏



カンボジア
観光副大臣
チャンター・ティ氏



フィリピン
政府観光省 次官
ベニート・C.ベンゾンJR.氏



スーダン共和国
観光・古代・野生動物大臣
モハメド・アブサイド・ムスタファ氏



世界旅行ツーリズム協議会
会長
ジェラルド・ローレス氏



フランス観光開発機構
ジェネラル・マネージャー
クリスチャン・マンテイ氏



インドネシア
観光副大臣
イ・グデ・ピタナ氏



タイ観光・スポーツ大臣
ユープカーン・
ワッタナワランカーン氏



香港政府観光局
副理事長
ベッキー・イップ氏



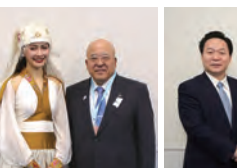
ミャンマー
ホテル・観光省大臣
アウン・マウン氏



台湾交通部観光局局長
周永暉氏



エジプト
観光副大臣
アドラ・ラガブ氏



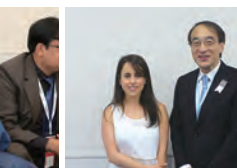
ラオス
観光親善大使
ロウクム・ボンシリ氏



中国国家観光局
国際合作司巡視員
張西龍氏



平昌五輪組織委員会委員長
イ・ヒボム氏
韓国・江原道知事
チェ・ムンソン氏



バングラデシュ国会議員
バングラデシュ民間航空観光省
議会 常任委員会委員
ロウシャン・アラ・マンナン氏



アルゼンチン観光省
マーケティング・ディレクター
ナチ・ピラルド氏

英国・北ウェールズ観光局
取締役
ジム・ジョーンズ氏

小間内 レセプション



EXPO 交流会

大いに盛り上がった出展者同士の交流の場

出展者同士の交流の場としてEXPO交流会が開催された。挨拶に立ったツーリズムEXPOジャパン実行委員会の田川博己委員長は、出展者に謝辞を述べた後、BtoBの強化として初めて開催した商談会についても言及。「2日目以降の各ブース内商談も積極的に活用してほしい」とし、ツーリズムEXPOジャパンがビジネス拡大の場としても有効であることを強調した。

また、来賓として自由民主党の二階俊博幹事長が登壇。「困難も多かったと思うが、観光産業に従事する皆さんの努力に敬意を表する」と挨拶した。同じく来賓の衆議院議員・武井俊輔氏は「人と人、国と国をつなぐ観光産業は、世界平和にとっても大きな役割を担っている」などと話した。

会場は終始和やかな雰囲気の中で、国内外の出展者同士が情報交換を行う姿が見受けられた。

料飲／軽食提供：高知県観光コンベンション協会、アルゼンチン大使館
ステージ演目提供：沖縄県、四国土佐おもてなし海援隊、ケニア大使館、岩手県

9月22日（金）18:00～20:00 東京ビッグサイト 東展示場内 Aステージ



田川博己委員長



二階俊博氏



武井俊輔氏



ステージでは山口千貴氏によるドローン撮影動画の紹介や沖縄のエイサーなどが披露された



全国で当地どんぶり選手権 in ツーリズム EXPO ジャパン 2017

全国各地からご当地自慢のどんぶりが集まり、食べ比べたお客様の投票によってNo.1が選ばれる「全国ご当地どんぶり選手権（2018年1月開催）」の予選会が、今年もツーリズムEXPOジャパンで開催された。会場ではハーフサイズのどんぶりを500円で提供し、来場者がおいしいと思ったどんぶりに投票。16のどんぶりの中から今年は10のどんぶりが本選への出場権を手にした。



世界のグルメ名酒博

今年は本場ミュンヘンのオクトーバーフェスト公式ブリュワリーのドイツビールのほか、アメリカ、ベルギー、チェコなど世界の樽生ビールを提供。ソーセージやフィッシュアンドチップスなどのフードも充実、多くの人で賑わった。



ワールドフードコート

今年はトルコ、ミャンマー、パラグアイの話題のグルメが出演。来場者は大人気のケバブやパエリア、ミャンマーの麺料理などに舌鼓を打った。



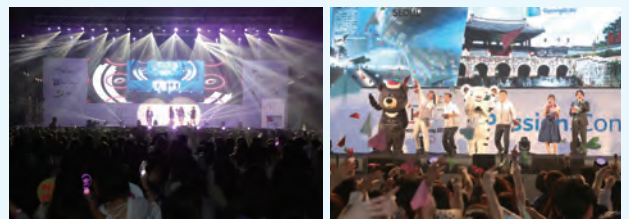
企画協力

2018 平昌冬季五輪のきっかけ ソウル市・京畿道・江原道 共同主催日本ロードショー 「THREE FRIENDS TALK & CONCERT in Tokyo」



2018年2月に迫った韓国・平昌冬季五輪への機運を高めるため、安藤美姫氏が冬季オリンピック種目の観戦ポイントを解説し、SUPER JUNIOR（ドンヘ、ウニョク、イェソン）とT-ARAによる3つの市・道の観光の魅力を伝えるトークショーと韓流コンサートを開催した。

9月23日（土）17:00～20:00
東京ビッグサイト 東8ホール 特設ステージ



展示会 [主催者関連]

業界関係者・一般来場者に向け、バラエティー豊かな企画を展開

開催4年目、第2ステージへと進化を遂げた2017年は、イベントテーマである「旅（ツーリズム）の新しいカタチ」を体現すべく、テーマ別観光や産業観光、スポーツツーリズムなどを紹介するとともに、好評な企画は継続して実施。さまざまな切り口から観光産業活性化の施策に挑戦した。

新規企画 「旅（ツーリズム）の新しいカタチ」

テーマ別観光

いまや旅は場所を決めるのではなく、特定の観光資源に魅せられ、テーマで決める時代。会場では、世界のアニメファンが選んだ「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」や地域固有の自然、文化、歴史を保ち、持続的に利益をもたらす観光スタイル「エコツーリズム」、全国各地のマラソン大会情報、明治日本の産業革命遺産の魅力を紹介するブースが出演。また、主催者パネル展示では、13の旅のテーマを紹介した。

<紹介テーマ>

アニメツーリズム／エコツーリズム／全国各地マラソン／明治日本の産業革命遺産／古民家等の歴史的資源／サイクルツーリズム／日本巡礼文化発祥の道／忍者ツーリズム／百年料亭／街道観光／酒蔵ツーリズム／社寺観光 巡礼の旅／ロケツーリズム



産業観光

産業観光とは、歴史・文化的に価値のある産業文化財（古い幾何器具や工場遺構などの産業遺産）、生産現場（工場、工房等）、産業製品を観光資源とし、それらを通じて日本のものづくりの心に触れる観光活動。会場では、愛知県、北九州市、墨田区、諏訪田製作所が、産業観光施設や工場夜景、匠の技を紹介した。



ご当地ゆるスポ

スポーツを通じて、地方の魅力を発信する「ご当地ゆるスポ」。今年は場内に並べられた大きなかるた取りに来場者が挑戦。かるたを探して場内を走り回る子供たち、一緒に参加したお父さんやお母さんも思わず本気に！というほほえましい姿が見受けられた。



2017 特別企画

バルト三国企画

今年のツーリズムEXPOジャパンでは、バルト海の東、フィンランドの南側に並ぶバルト三国（エストニア・ラトビア・リトアニア）を特集展示。業界日には、各国の魅力を伝えるセミナーや、リトアニアの合唱団とラトビア伝統楽器のパフォーマンスが行われた。

また、一般日には元大関把瑠都氏によるトークショー、ジュエリー・ワークショップなども開催され、多くの来場者がバルト三国の文化と触れ合った。



海外ホテルコーナー

海外ホテル協会（OHEA）協力のもと、海外ホテルの魅力を紹介するコーナーを新設。今年はホテルグループ含む9団体が情報を提供した。



旅の広場

専門地域や国、専門分野の旅行を取り扱う事業者が出展。ブース展示のほか、隣接するプレゼンテーションスペースで説明会を実施することで、レアなツアー商品情報や旅行情報を提供。来場者に専門旅行会社の特徴や個性をアピールした。



旅のチカラで日本をもっと元気にしよう!!



第3回 ジャパン・ツーリズム・アワード 受賞取組紹介



スポーツツーリズム



MLB ROADSHOW 2017

アジア・南米・ヨーロッパなど世界中で展開しているベースボールテーマパーク「MLB ROADSHOW」を新たなスポーツコンテンツとしてTEJ会場内で開催。MLBの魅力を来場者にアピールした。

Meet the World (ミート・ザ・ワールド)



“i enjoy!” パラスポーツパーク



SNOW RESORT スクエア



第65回 日本観光ポスターコンクール



東北・熊本復興支援 JATAツーリズム・ チャリティー・オークション2017



留学コーナー



伊藤園 おへいお茶 新俳句大賞

ヨーロッパスクエア



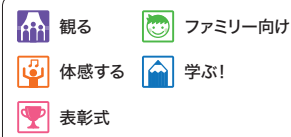
ホスピタリティ向上でファミリー層も増加!

小さなお子様連れでも楽しめるよう、今年もキッズコーナーやベビーカー置き場などを設置。一般日はベビーカーや子供の手を引いて、場内のさまざまな体験イベントを楽しむ親子連れの姿が目立った。



展示会 [ステージスケジュール]

各国・地域の個性溢れるパフォーマンスとイベントで観客を魅了



9月23日[土]	会場	東1 Aステージ	東3 Bステージ	東4 Japanステージ
	時間			
9月23日[土]	10:00	10:30 - 11:00 EGYPTIAN FOLKLORIC PERFORMANCES FOLKLORIC/TANOURA エジプト/郷土芸能	10:30 - 11:00 マリアナの魅力 マリアナちゃんとMissマリアナ マリアナ/観光PRとダンス	10:30 - 11:00 熊本県観光PRステージ くまモン隊 日本(熊本県)/観光PR
	11:00	11:15 - 11:45 岩手まるごとご紹介&盛岡さんさ踊り 岩手まるごとおもてなし隊&ミスさんさ踊り 日本(岩手県)/郷土芸能	11:15 - 11:50 アルゼンチンタンゴ ディエゴ&カルラ アルゼンチン/ダンス	11:15 - 11:45 茨城県・栃木県合同観光PR&パフォーマンス マシコタツロウ(茨城県)、涼風花(栃木県)ほか 日本(茨城県・栃木県)/観光PR
	12:00	12:00 - 13:30 ドローン片手に世界一周新婚旅行-空飛ぶ絶景400日 ハネムントラベラー Kaz Yamaguchi 主催者/トークショー	12:00 - 12:30 ネパール伝統舞踊パフォーマンス ネパール伝統舞踊パフォーマンスグループ ネパール/伝統舞踊	12:00 - 12:30 東京スカイツリー公式キャラクターのソラカラちゃんダンス!と 久野知美&南田裕介の東武鉄道トークショー ソラカラちゃんほか 日本(日南市・東武グループ)/観光PR
	13:00	13:45 - 14:15 三愛水着楽園ビーチスタイルショー2017 2017年三愛水着楽園イメージガール・熊江琉唯ほか 日本(三愛水着)/ファッションショー	12:45 - 13:15 南スマトラのシャクヤキルティ・ダンス他、インドネシア の伝統舞踊パフォーマンス アルティナ・プロダクション インドネシア/伝統舞踊	12:30 - 13:00 兵庫県観光PRステージ〜グルメ&旅〜 ご当地キャラ、観光レディほか 日本(兵庫県)/観光PR
	14:00	14:30 - 15:00 もっと楽しいフィリピン ヒューマンビートボックスアーティスト:ニール・リャネス フィリピン/演奏	13:30 - 14:00 ミャンマーステージ ミャンマー	13:15 - 13:45 九州からありがとう&空行け九州キャンペーン! 大迫淳英、航空会社CAほか 日本(九州)/観光PR
	15:00	15:15 - 16:15 東京都観光PRトーク・ステージ 東幹久、魚住りえ、ドラ・トーズンほか 東京都/トークショー	14:15 - 14:45 ミート・カラーズ!台湾 無双楽団 台湾/伝統音楽	14:00 - 14:30 第65回日本観光ポスターコンクール表彰式 主催者/表彰式
	16:00	16:30 - 17:00 +150年ロマンス(土佐おもてなし海援隊ステージショー) 土佐おもてなし海援隊(高知県)ほか 日本(四国)/ 観光PRとダンス	15:00 - 16:00 ツアーズグランプリ表彰式 主催者/表彰式	15:00 - 15:30 千葉県秋の観光キャンペーンPR チーバくんほか、祭ばやし(愛宕はね太鼓) 日本(千葉県)/観光PR
	17:00	17:15 - 17:45 中国雑技・舞踏 大唐美容園演出団 中国/民族舞踊	16:30 - 17:00 メキシコの伝統楽団マリアッチによるライブ演奏 マリアッチ・アガベ メキシコ/伝統音楽	15:45 - 16:15 徳川家康と服部半蔵忍者隊演武ステージ 徳川家康と服部半蔵忍者隊 日本(愛知県)/観光PRと演武
	18:00		17:15 - 17:45 クイズに答えて香港エクスプレスの素敵な賞品を当てよう! 香港エクスプレス/クイズ	16:30 - 17:00 滋賀県ご当地キャラクターによる観光PR 公益社団法人びわこビジネスマンビューロー 日本(滋賀県)/観光PR
				17:15 - 17:45 関ヶ原古戦場PR 関ヶ原女性武将隊 巴組(サンミュージック) 日本(岐阜県)/観光PR、歌とダンス
9月24日[日]	会場	東1 Aステージ	東3 Bステージ	東4 Japanステージ
	時間			
	10:00	10:15 - 10:45 パラグアイハーブ「アルバ」とボルトダンス ソニーサ パラグアイ/楽器演奏、ダンス	10:30 - 11:00 自転車を連れて 世界へ行こう! 健康的でエコな旅の形のご提案 中岡 崇 オンラインテックワン 日本/トークショー	10:15 - 10:45 Rihwa 生HOKKAIDO LIVE Rihwa 日本(北海道)/歌
	11:00	11:00 - 11:30 To heard and seen The beauty of Taiwan Aborigine Composed Artistes In Taiwan Aborigines (CAITA) 台湾/伝統舞踊	11:15 - 11:45 ウズベキスタンダンスショー 〜花嫁の挨拶〜 グリスダン ウズベキスタン/伝統舞踊	11:00 - 11:30 相馬野馬追 礼楽吹奏と民謡「相馬流れ山」斉唱 相馬野馬追 中ノ郷騎馬会ほか 日本(福島県)/伝統音楽
	12:00	11:45 - 12:30 沖縄伝統芸能 青年会エイサー 沖縄市 東青年会 日本(沖縄県)/観光PR、演舞	12:00 - 12:30 ラオスはいったいどこにあるというんですか? ラオス観光親善大使、ラオスのエコ/リゾート ラオス/観光PR	11:45 - 12:15 安芸ひろしま武将隊演舞 安芸ひろしま武将隊 日本(広島県)/観光PRと演舞
	13:00	12:45 - 13:15 2018年平昌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会 開催記念イベント「魅力いっぱい韓国へ行こう」 韓国観光名譽広報大使アン ミカ スペシャルトークショー アン ミカ 韓国/観光PRとトークショー	12:45 - 13:15 もっと楽しいフィリピン Ver.2 ヒューマンビートボックスアーティスト:ニール・リャネス フィリピン	12:15 - 12:45 「ご縁の国しなね」紹介 ご当地キャラ(しなねっこ)ほか 日本(島根県)/観光PR
	14:00	13:30 - 14:00 IPU・環太平洋大学ダンス部によるダンスパフォーマンス 〜はじまりの詩〜 IPU・環太平洋大学ダンス部 両備グループ/ダンス	13:30 - 14:00 チェコ共和国:ツインパロンバンドフォークロアコンサート ツインパロンバンド・ストラージュニヤン チェコ共和国/伝統楽器演奏	13:00 - 13:30 和歌山県観光PR 岡本玲(女優)、わかやまパング大使)ほか 日本(和歌山県)/観光PRとトークショー
	15:00	14:15 - 14:45 「リトアニア独立100周年 歌の祭典」コーラスグループ リトアニア国立文化センター リトアニア/伝統音楽	14:15 - 14:45 南アフリカの太鼓ジェンベのスペシャルステージ ドラムカフェ 南アフリカ観光局/楽器演奏	13:45 - 14:15 YOKADO かこんま! ご当地キャラ(くりぶー、薩摩剣士隼人) 日本(鹿児島県)/観光PR
	16:00	15:00 - 15:30 ラバム・シバーク(四地方の踊り) バーンラバムタイ舞踊団 タイ/民族舞踊	15:00 - 15:30 クラブメッド ジョーオーショー クラブメッド 北海道 トム&サホロ G.Oチーム	14:30 - 15:00 心にググっ!群馬県観光PRステージ ご当地キャラ(ぐんまちゃん他)、ぐんま観光おもてなし隊他 日本(群馬県)/観光PR
	17:00	16:00 - 16:30 どんぶり選手権表彰式 主催者/表彰式	15:45 - 16:15 クルーズライター上田寿美子氏による クルーズトークショー! クルーズライター上田寿美子氏 ロイヤル・カリビアン・インターナショナル/トークショー	15:00 - 15:30 あきたわんわん娘&あきたわんわんボーイズ あきたわんわん娘&あきたわんわんボーイズ 日本(秋田県)/観光PR、歌とダンス
		16:30 - 17:00 グランドフィナーレ 主催者/セレモニー	16:30 - 17:00 カンタン・チャモリタ 〜グアムの歌と踊り〜 グアム チャモロダンス アカデミー アメリカ(グアム)/伝統楽器演奏とダンス	15:45 - 16:15 落語×映像で楽しむ「明治日本の産業革命遺産」 落語協会所属の若手落語家 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会/トークショー

セミナールーム	9/23(土)	開催場所	開催時間	団体名	
		東1 セミナールーム10	13:30-16:30	事業構想大学院大学	13:30~14:30...講演:「観光地経営の核となるDMO」を知る一財源・人材・ガバナンスetc...」 講師:大社 充(DMO推進機構・代表理事/事業構想大学院大学・客員教授) 14:45~16:30...フリートーク:「DMO/観光地経営なんでもQ&A -財源・人材・連携ほか-」
9/24(日)	東3 セミナールーム11	10:00-18:00	一般社団法人ロングステイ財団	ロングステイ比較セミナー<アジア編>	
		東3 セミナールーム11	10:00-18:00	グアム	グアムチャモロダンスアカデミー



閉会式／グランドフィナーレ

2017年9月24日(日) 16:30~17:00
東京ビッグサイト 東展示棟内 Aステージ

総来場者数は過去最高の191,577人を記録し閉幕、 2018年はさらに有益なネットワーキングの場へ!

4回目を迎えた今年は、過去最高191,577人の入場者数を記録。会期中の商談件数も2016年の2.5倍と充実のビッグイベントとなった。閉会式で挨拶に立ったJATAの田川会長は「今年は第2ステージ初年度にふさわしい、体験や感性に訴える展示が目立つイベントになったと思う。2018年はさらに高みを目指して頑張りたい」と述べ、2018年への進化を約束した。

また、「ブースグランプリ」表彰式も行われ、グランプリ1団体、準グランプリ2団体、特別賞1団体に加え、実行委員長賞1団体が選ばれた。ブースグランプリは、22日(金)・23日(土)の2日間、全出展者を対象に来場者、出展関係者の投票により選出され、受賞者には記念の楯と賞状、副賞として2018年の出展ブースが提供された。

最後には全国・各地のご当地キャラクターたちも大集合、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2018年開催へのスタートを切った。



※受賞者の紹介は、P24~27「出展者の声」を参照



登壇者

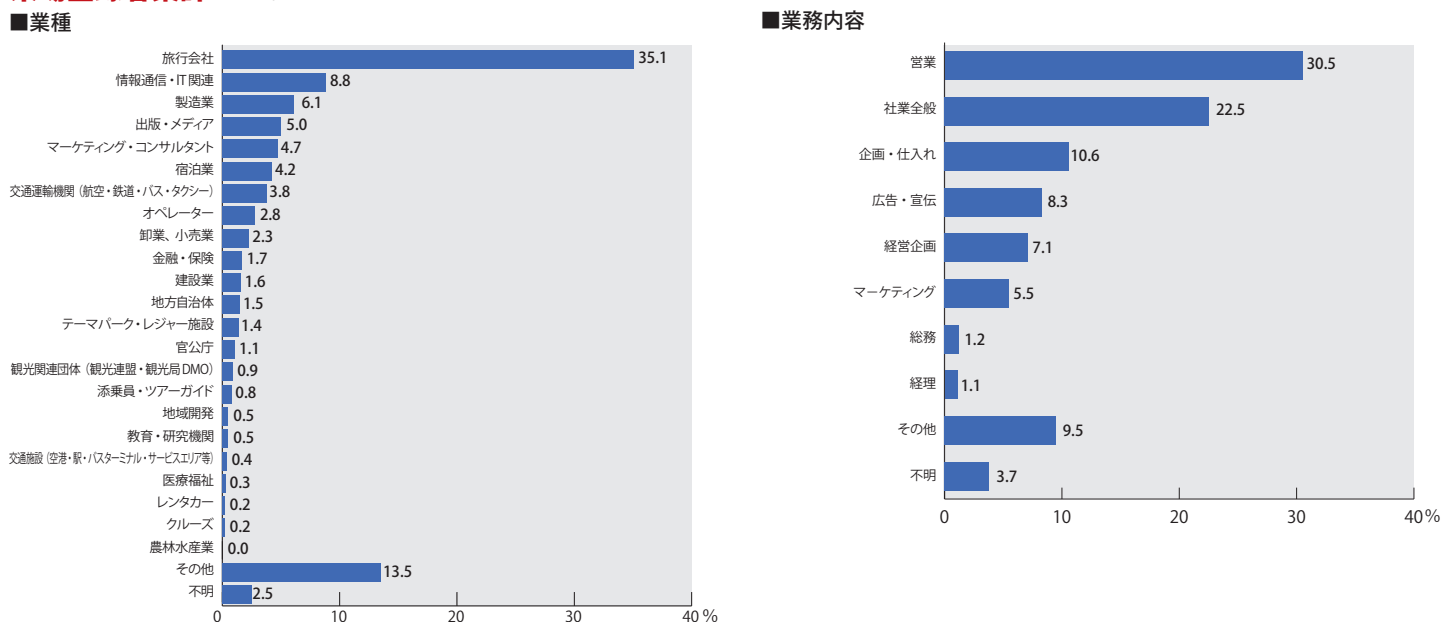
〔閉会式〕株式会社ジェーシービー 代表取締役兼執行役員社長 浜川一郎氏
一般社団法人 日本旅行業協会 会長 田川博己
公益社団法人 日本観光振興協会 理事長 久保成人
一般社団法人 日本旅行業協会 理事長 志村 格
ブースグランプリ受賞者

〔グランドフィナーレ〕出展者(全国・各地のご当地キャラクター等)

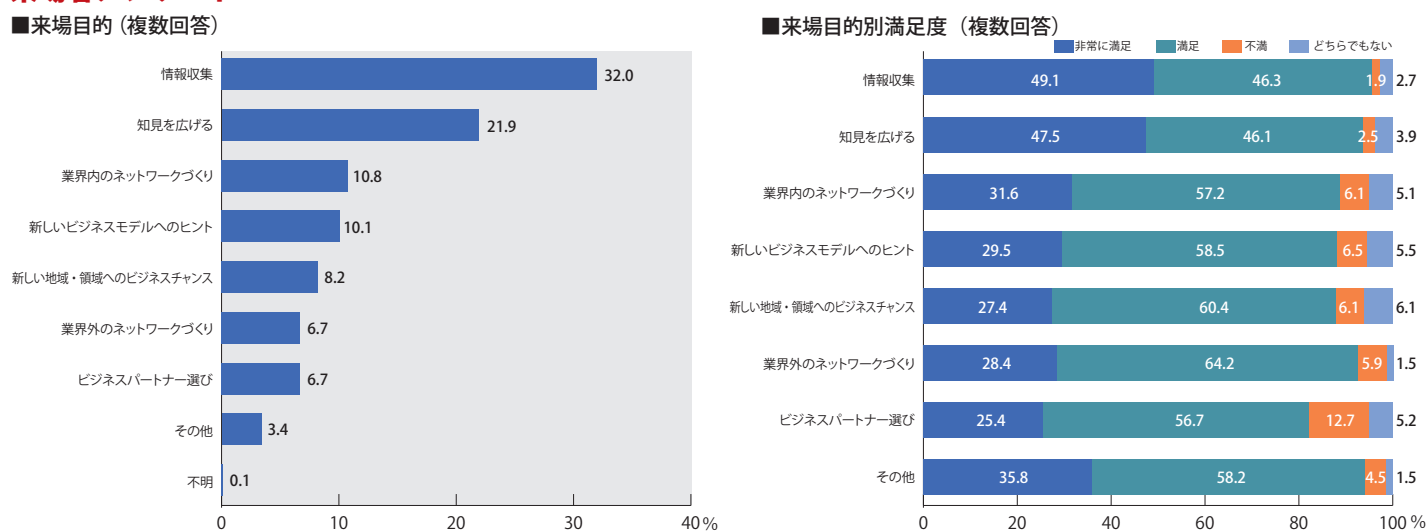
業界来場者集計／アンケート

来場者の業種は「旅行会社」が35.1%と突出しているが、「情報通信・IT関連」が8.8%で続いており、来場者の広がりが見られる。来場目的別満足度を見ると、いずれも8割以上が満足と回答しており、中でも「業界外のネットワークづくり」の満足度が92.6%と、業界の垣根を越えたビジネスイベントへの前進が見られる結果となった。

来場登録者集計 (n=4,263)



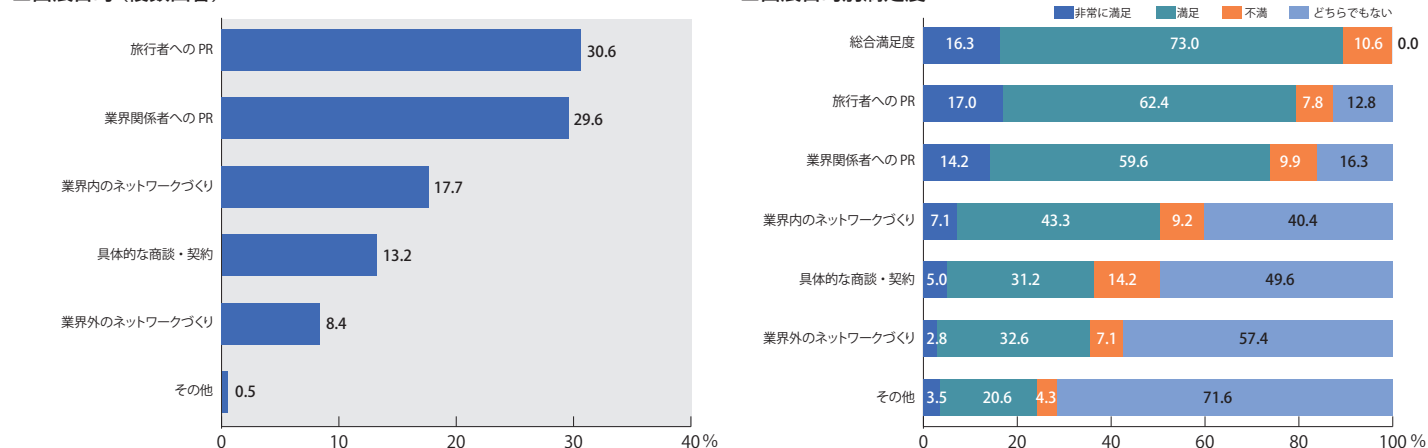
来場者アンケート (n=675)



出展者アンケート

出展目的は「旅行者へのPR」「業界関係者へのPR」が共に約3割を占め、「業界内のネットワークづくり」「具体的な商談・契約」と続く。総合満足度は約9割と、出展者の大半が満足している様子が見える。

出展者アンケート (n=141)



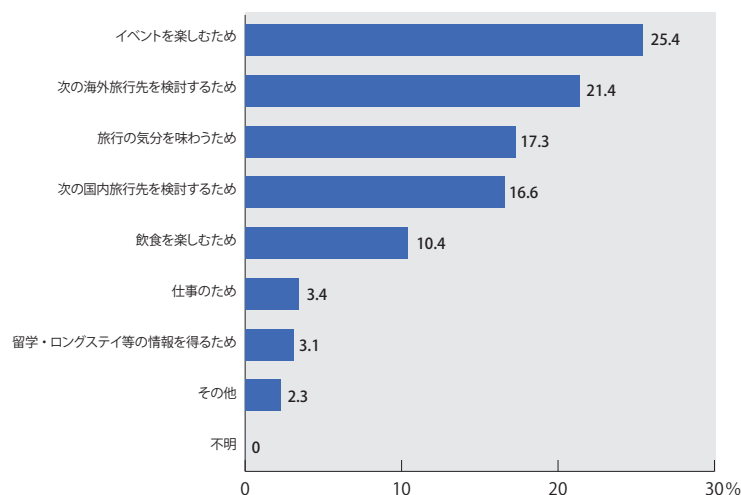
一般来場者アンケート

(n=1,006)

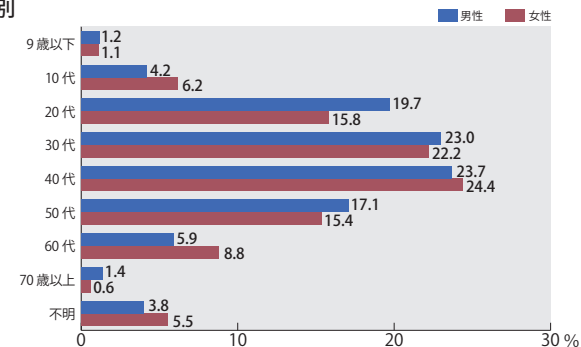
女性層が6割弱、年代別では40代、30代、20代、50代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」がトップだが、「次の旅行先(海外・国内)を検討するため」「旅行の気分を味わうため」とする“旅好き”も多く、目的別満足度も高いことが見てとれる。

ツーリズムEXPOジャパンとして4年目を迎え、一般消費者の間でも旅のコンテンツが詰まったイベントという認知が高まってきているようだ。

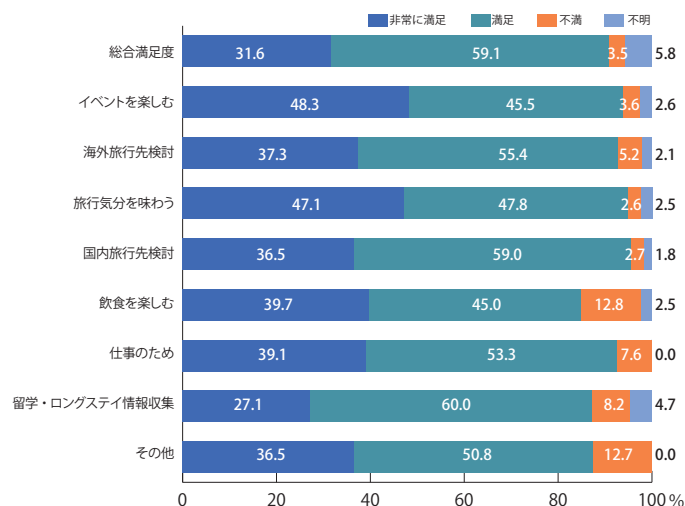
来場目的 (複数回答)



年代・性別



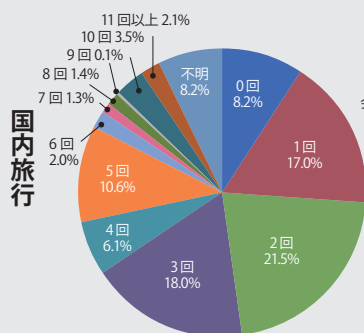
来場目的別満足度



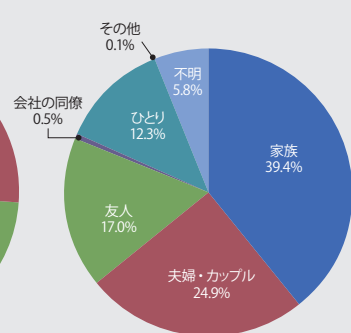
一般来場者の旅行動向

全体的に旅行意欲は高く、国内旅行では約8割が年に1回以上の宿泊旅行を楽しみ、海外旅行経験も多い傾向にある。旅行形態は、国内旅行では「個人手配」が約6割を占めるが、海外旅行では逆に「パッケージツアー」(現地フリーも含む)が5割強を占めている。旅行手配の方法は、国内・海外ともインターネット予約の伸びが目立つものの、旅行会社経由の手配も5割前後と、存在感を示している。

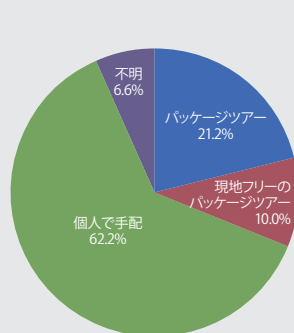
過去1年間の旅行経験 (宿泊旅行)



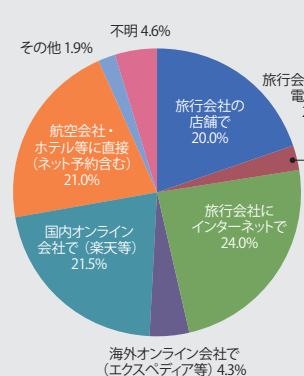
同行者



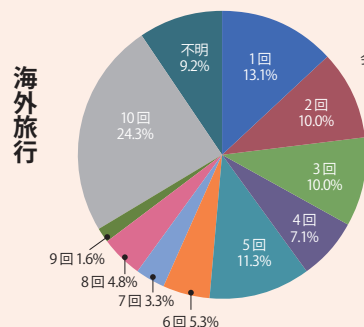
旅行形態



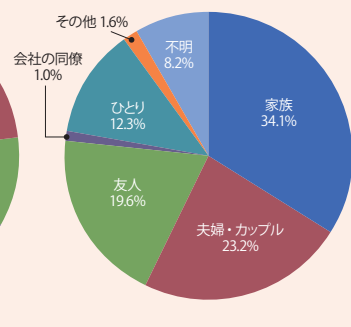
旅行手配先



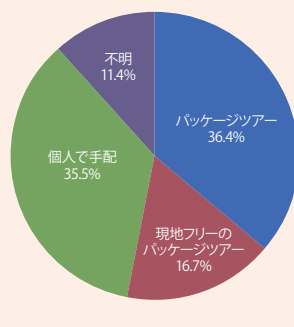
過去の旅行経験 (宿泊旅行)



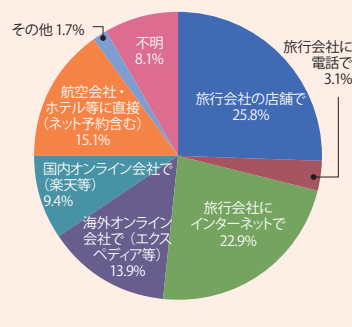
同行者



旅行形態



旅行手配先



広報宣伝活動 [テーマコピー、キービジュアル]

1. テーマコピー

ツーリズムEXPOジャパンの第1ステージ(2014年～2016年)の3年間は、主に一般消費者の旅
行需要喚起を目的とした観光イベントとしての認知・ブランド形成が図られてきた。

第2ステージ(2017年・2018年)に入り、ビジネス面での効果を実感できるイベントづくりが求め
られる中、2017年は、イベントの広がりや消費者向け、観光産業関係者向け、それぞれの対象別に
認知・浸透を図ることを大きな目標として、一般向けに「旅への行動を喚起するテーマコピー」、業
界向けは「観光産業の発展成長を促すテーマコピー」を制作表現、対象別に告知・露出を図った。

- ＜一般消費者向け＞ 見つけよう。旅の「新しいカタチ」。
＜観光産業界向け＞ 創ろう。ツーリズムの「新しいカタチ」。

2. キービジュアル

＜デザインコンセプト＞

扉を開き、自身の旅の目的・嗜好にあわせ、楽しく・魅力あふれる旅先へ向かうイメージをデザイン表現、旅先の目的・場所・手段などによ
って無限に生みだされる旅の「新しいカタチ」を、“万華鏡”をモチーフに表現。体験重視のツーリズムの立体的な深まりや多様性をきらびやかに
表現するビジュアル制作とした。



[デジタルメディア展開]

観光・旅行に関心を持つ幅広い層へのリーチを図り、認知拡大を図る取り組みとして、動画を活用したインターネット広告の展開を
新規で実施。従来の「検索連動型リスティング広告」、ユーザーの志向に合わせ広告投下する「ディスプレイ広告」を中心に広告出稿、
公式サイトへの誘導、トラフィックを上げる展開とした。

■ インターネット広告ターゲット

広告投下エリア: 関東1都3県

興味関心 年齢:

旅行に関心を持つ18～54歳の男女

■ ウェブサイトアクセス結果

ページビュー数:

3,476,027PV (前年比129%)

セッション数:

650,325セッション (前年比85%)

ユーザー数:

529,257ユーザー (前年比84%)

動画広告

YouTube/TrueView広告

9/8(金)～9/24(日)

視聴回数350,311回 (前年比20倍)

産経ニュース(PC版)/インリード広告

9/11(月)～9/18(月・祝)

750,886 Vimp (前年実績なし)

SankeiBiz(PC版)/インリード広告

9/11(月)～9/24(日)

87,386 Vimp (前年実績なし)

産経デジタル/Backdrop, Landscape広告

9/18(月)～9/24(日)

76,550 Vimp (前年実績なし)

(産経ニュース、iZa、SANSPO.COM、

SankeiBiz、zakzak)

インターネット会場生中継(5時間)

9/22(金)

インプレス/トラベル Watch

YouTube LIVE 「トラベル Watchチャンネル」

視聴回数 8,245回

ニコニコ生放送「Car Watch チャンネル」

視聴回数 21,373回

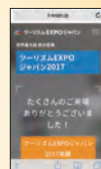
2017年版 公式ウェブサイトの特徴

- ・BtoB、BtoCへ導線を分かりやすくするためグランド
ドトップを設置し、誘導口を明確化
- ・情報へのストレスのないアクセスが図れるようなユ
ーザーインターフェイス
- ・すべてのページをスマートフォン表示用にレスポ
ンシブ対応設計

PC版



スマホ版



ディスプレイ広告/Yahoo! Google

YAHOO! JAPAN

Google

9/8(金)～9/24(日)

リターゲティング広告

サイト訪問した潜在層を取り込む広告

インタレストカテゴリ広告

興味関心を持つ潜在層を取り込む広告

サイト属性ターゲティング広告

興味関心を持つ潜在層を取り込む広告

表示回数: Yahoo! 7,457,879回、

Google 6,911,712回



リスティング広告

9/8(金)～9/24(日)

検索結果に合わせ顕在層を取り込む広告

表示回数: Yahoo! 506,290回、Google 168,785回

＜ディスプレイ広告/トラベルボイス＞

9/4(月)～9/10(日)、9/16(土)～9/22(金)

表示回数: 280,000回

＜SNS展開＞

これまでのFacebook、Twitter(一般向け)展
開に加え、Twitterビジネス向けアカウント日本
語・英語、Instagram一般向けアカウントを新
設運用、出展者が運用するSNSと共に、ツー
リズム EXPO ジャパンを一緒に投稿するキャン
ペーンを9/7(木)、9/14(木)、9/21(木)に実施



[宣伝活動]

9月より交通広告、雑誌広告、ケーブルテレビCM、チラシ配布展開を実施。

◆交通広告媒体／ポスター掲出

- JR中吊業務枠 (B3サイズ) 計10,330枚
湘南新宿ライン・上野東京ライン: 9/15 (金) ~ 9/18 (月)
京浜東北線・根岸線・中央線 (快速・各駅停車)・京葉線・埼京線・りんかい線・山手線・横須賀線・総武線 (快速): 9/18 (月) ~ 9/19 (火)



- JR窓上広告 (B3サイズ) 計3,500枚
京浜東北線・根岸線・埼京線・りんかい線・中央総武各駅停車線・山手線: 9/18 (月) ~ 9/24 (日)



- 駅貼り広告 (B1サイズ)
東京メトロ駅貼り 計44駅60枚
9/8 (金) ~ 9/22 (金)
東武鉄道 計190枚 (本線および東上線沿線駅)
9/1 (金) ~ 9/24 (日)
JR横浜駅 計5枚
9/19 (火) ~ 9/24 (日)



- ゆりかもめ車内広告
額面広告 (B3サイズ) 計370枚
9/18 (月) ~ 9/24 (日)



ドア横広告 計230枚
9/1 (金) ~ 9/24 (日)



◆事前告知ツール

- 開催告知ポスター (B3サイズ)
2,500枚
出展者向け配布
9月上旬~9/24 (日)



- 一般来場用チラシ (A4サイズ)
69,490枚
出展者、日本観光振興協会役員会社、日本旅行業協会役員会社、協賛企業他



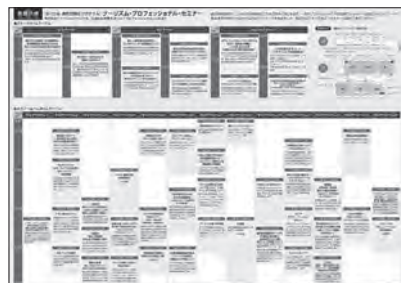
- 業界来場チラシ (A3二つ折りサイズ)
34,500枚
出展者、日本観光振興協会役員会社、日本旅行業協会役員会社、協賛企業他



◆雑誌広告



全日本空輸 機内誌「翼の王国」(8月号)
日本航空 機内誌「SKYWARD」(9月号)
2017 CRUISE STYLE GUIDE 「EMBARKATION」
AERA (アエラ) (9月16日号)



◆テレビ、屋外映像広告

旅チャンネル30秒CM／カートゥーンネットワーク30秒CM／関西国際空港KIXインフォメーションボード15秒CM／羽田空港 羽田フューチャービジョン15秒CM



[広報活動について]

主な広報活動として、プレスリリースの配信による告知活動を3月よりスタート、会期前までに13本のリリースを配信、メディアに対しアプローチ。会期直前には業界紙・誌を中心にプレスブリーフィングを行い、従来のB to C向けのSNS発信に加え、2017年は業界向けSNSを立ち上げ、一斉投稿キャンペーンを行った。

そのほか、記者会見は5月30日(火)に概要発表を行い、約50名のメディアが参加、新聞・ウェブを合わせ約230件の媒体露出があり、会期中は主催三団体のトップによるフォトセッションを行い、イベント周知・ブランディング活動により大きな広報成果を上げた。

取材メディア数

4日間合計: 1,118名

■掲載件数 全2,724媒体

テレビ・新聞・雑誌・WEBニュース全2,724媒体で露出

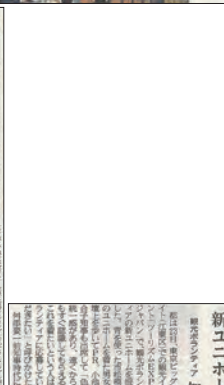
■テレビ 10番組

全国キー局はじめ全10番組の露出。全国ニュースでは、TX「ゆうがたサテライト」をはじめ、CX「みんなのニュース」にて各4分超の長尺で報道されたほか、TBS、TOKYO MX、中京などの地方局でも報道された。



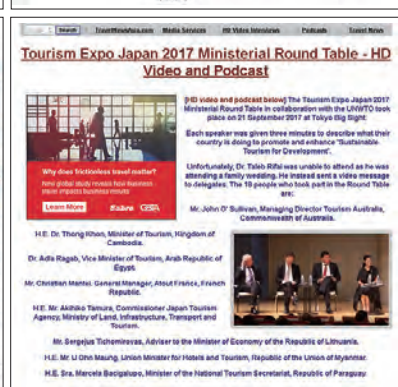
■中央紙・通信社・スポーツ紙・雑誌 181媒体

主要中央紙に掲載されたほか、地方紙等、幅広い媒体での掲載につながった。特にVRを使ったプロモーションや体験型のブース展示が記事として掲載された。



■WEB 2,533媒体

朝日新聞、読売新聞、共同通信社、時事通信社のWEBサイト等で幅広く露出。また、TVキー局、NHK各社のWEB動画ニュース等で幅広く紹介されたことをきっかけに、影響力の高いYahoo!をはじめとしたポータルサイトなどに取り上げられたほか、国内・海外の旅行業界紙による連載、出展企業による情報発信が広く拡散し、合計2,533サイトでの露出につながった。



運営／協賛・協力機関団体リスト

【イベント名称】 ツーリズムEXPOジャパン 2017 / Tourism EXPO Japan 2017

【主 催】 公益社団法人 日本観光振興協会（日観振）、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）

組織委員会

<委員長>

山口 範雄 公益社団法人 日本観光振興協会 会長

<副委員長>

田川 博己 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長
 松山 良一 日本政府観光局（JNTO） 理事長

<委員>

市井 三衛 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 専務理事 事務局長
 伊東 信一郎 ANAホールディングス株式会社 取締役会長
 大西 賢 日本航空株式会社 取締役会長
 菊間 潤吾 株式会社ワールド航空サービス 代表取締役会長
 後藤 高志 株式会社西武ホールディングス 代表取締役社長
 近藤 幸二 一般社団法人 全国旅行業協会（ANTA） 副会長
 三宮 維光 株式会社ジェーシービー・インターナショナル 代表取締役副会長
 篠原 弘道 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 副会長
 志村 康洋 一般社団法人 日本ホテル協会 会長
 鈴木 大地 スポーツ庁 長官
 須田 寛 日本商工会議所 観光委員会 共同委員長
 堰八 義博 公益社団法人 北海道観光振興機構 会長
 平良 朝敬 一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長
 高橋 広行 株式会社ジェイティービー 代表取締役社長
 田村 明比古 国土交通省観光庁 長官
 富田 哲郎 一般社団法人 日本経済団体連合会 審議委員会 副議長
 観光委員会 委員長
 針谷 了 一般社団法人 日本旅館協会 会長
 日野 正夫 東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
 平田 竹男 内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局 事務局長
 藤田 裕司 東京都産業労働局 局長
 宮田 亮平 文化庁 長官
 丸尾 和明 株式会社日本旅行 代表取締役会長
 フレデリック・マゼンク フランス観光開発機構（Atout France）在日代表、アジア・太平洋・中東地区統括責任者

実行委員会

<委員長>

田川 博己 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長

<副委員長>

久保 成人 公益社団法人 日本観光振興協会 理事長
 河田 守弘 日本政府観光局（JNTO） 総括理事

<特別顧問>

本保 芳明 国連世界観光機関 駐日事務所 代表

<委員>

秋保 哲 全日本空輸株式会社 マーケティング室 マーケティング計画部 担当部長
 五十嵐 克也 日本商工会議所 地域振興部長
 生田 亨 株式会社JTBワールドパケーションズ 代表取締役社長
 稲田 正彦 KNT-CTホールディングス株式会社 執行役員 訪日旅行部長
 今泉 典彦 一般社団法人 日本経済団体連合会 観光委員会企画部会 部会長
 大槻 厚 株式会社日本旅行 取締役（兼）常務執行役員、個人旅行営業統括本部長
 小澤 直 公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター 常務理事
 小沼 博靖 東京都産業労働局 観光部 部長
 木俣 豊 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 事務局代表
 久保田 穰 公益社団法人 日本観光振興協会 副理事長
 小堀 守 日本政府観光局（JNTO） 理事
 斎藤 文代 株式会社阪急交通社 CSR推進本部 広報部長
 澤山 英治 日本航空株式会社 旅客販売統括本部 観光政策推進担当 部長
 志村 格 一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 理事長
 高橋 敦司 株式会社ジェイアール東日本企画 常務取締役 営業本部長
 檀原 徹典 株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長
 永山 裕二 文化庁 審議官
 板川 直也 国土交通省観光庁 審議官
 平井 明成 スポーツ庁 スポーツ総括官
 平垣内 久隆 内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局 企画・推進統括官
 横田 寿文 特定非営利活動法人 映像産業振興機構 事務局次長
 渡邊 康洋 桜美林大学ビジネスマネジメント学群 教授

【後 援】

国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、農林水産省、経済産業省、環境省、東京都、公益財団法人 東京観光財団、独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般社団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所

【企画・運営】 ツーリズムEXPOジャパン推進室

【特別協賛】 株式会社ジェーシービー

【事業別協賛】

●展示会

ゴールドスポンサー：フィリピン政府観光省
 シルバースポンサー：ハワイ州観光局、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、成田国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人 Tokyo Good Manners Project、株式会社ヒト・コミュニケーションズ
 ブロンズスポンサー：株式会社オリエンタルランド、東京海上日動火災保険株式会社 賛助協賛：北海道旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社

●ツーリズムEXPOジャパンフォーラム

フォーラムストラップ協賛：タイ国政府観光庁
 フォーラムカフェブレイク（Café Break）協賛：株式会社クラブメッド

●ジャパン・ツーリズム・アワード

協 賛：株式会社ジェーシービー

●WELCOME RECEPTION

日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、トラベルポートジャパン株式会社、株式会社伊藤園

【広告協賛】

●会場外広告

動く歩道ポスターボード広告：株式会社ジェーシービー、スペイン政府観光局、東京海上日動火災保険株式会社
 会場入口会場案内横広告：フィリピン政府観光省、NEPAL TOURISM BOARD
 ガレリアバナー広告：株式会社ジェーシービー、フィリピン政府観光省
 ガレリア中央柱巻広告：ソウル観光公社、フィリピン政府観光省
 ガレリア柱巻広告：SRI LANKA TOURISM PROMOTION BUREAU

●会場内広告

会場内天井吊りバナー広告：株式会社ジェイティービー、東京都(Tokyo Tokyo)、東日本旅客鉄道株式会社、Ministry of Hotels and Tourism, Myanmar, SRI LANKA TOURISM PROMOTION BUREAU

●会場プロモーション

展示会ガイドブック広告：アエロフロート・ロシア航空、株式会社ジェーシービー、全日本空輸株式会社、成田国際空港株式会社、日本航空株式会社、バルカン地域観光振興共同体、バルト三国、フィリピン政府観光省、フィンエアー（フィンランド航空）、マカオ観光局、南アフリカ観光局、Deaps Technologies株式会社
 パンフレット配布：鳥取県観光交流局 観光戦略課
 展示会パスホルダー広告：株式会社クラブメッド

●事前メディア広告

公式ウェブサイトバナー広告：Salar Amazon

【事業協力】

●WELCOME RECEPTION

一般社団法人 アニメツーリズム協会、株式会社キップス、株式会社タオ・エンターテインメント、凸版印刷株式会社、日本酒蔵ツーリズム推進協議会、日本電信電話株式会社、株式会社ログバー

●EXPO交流会協力

高知県観光コンベンション協会、アルゼンチン大使館、沖縄県、四国土佐おもてなし海援隊、ケニア大使館、岩手県

●広告広報協力

日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、日本空港ビルデング株式会社、新関西国際空港株式会社

（*順不同）
 （2017年9月1日現在）



KOTFA

世界70カ国・地域、800を超える企業・団体が出展参画するアジアを代表する観光情報展

The 33rd Korea World Travel Fair 2018

開催日：2018年6月14日（木）～6月17日（日）

出展申込受付中！（2018年4月13日まで）

会 場：COEX - 1F Hall A

主 催：韓国国際観光展（KOTFA2018）実行委員会

www.kotfa.co.kr

ツーリズムEXPOジャパンと、韓国国際観光展（KOTFA）はイベントを通じた観光促進協力協定を締結しています。

出展申込受付中！



ツーリズムEXPOジャパン 2018

19万人を集客する総合観光イベント

開催日：2018年9月20日(木)～23日(日)

会場：東京ビッグサイト

充実したプログラムで構成された総合観光イベント

●展示会商談会が、2日間へ！

海外、日本全国から観光・旅行業界関係者が一堂に会す、商談、ネットワーキング機会。2018年、業界・プレス日はアポイントメント制の展示商談会として2日間へ拡大。

週末2日間は、14万人を超える一般消費者が来場する年に一度の観光プロモーションの機会。

●ツーリズムEXPOジャパンフォーラム

観光産業の最新情報を分析し、観光・旅行産業の将来の展望を切り開きます！

●顕彰事業 ジャパン・ツーリズム・アワード

観光、旅行産業の発展に貢献する優れた取り組みを募集・表彰し国内外に発信！

●交流事業 WELCOME RECEPTION

国内外の関係者が一堂に会し、ビジネスの拡大を狙うネットワーキングの機会を創出！

日本政府観光局（JNTO）が主催するVISIT JAPAN トラベル & MICEマート（訪日旅行商談会）合同開催予定

出展料（申込締切日：2018年4月27日（金））

1. 基礎小間 486,000円（税込／9㎡） ※両袖パネル・背面パネル、電源付き
2. スペース（敷地のみ） 432,000円（税込／9㎡） ※4スペース以上からのお申込み

●2018年3月2日（金）までにお申込みの方には早期割引8%を適用！

※プログラムは変更となる場合があります。予めご了承ください。

お申込みは公式サイトから！ <http://t-expo.jp/biz>

[問合せ先]

ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

公式ホームページ <http://t-expo.jp/biz>

2019年大阪開催告知 開催日：10月24日(木)～27日(日) 会場：インテックス大阪